



DiscoMan
操作ガイド
V4.0

vario^{iP} PoE



目次

.....	- 1 -
■はじめに.....	- 3 -
■システム要件.....	- 3 -
■インストールの手引き.....	- 4 -
■クイックスタート.....	- 7 -
■DiscoMan を使用する.....	- 9 -
・ 投光器検出.....	- 9 -
・ 投光器選択.....	- 12 -
・ アクションバー.....	- 13 -
■Access（接続）.....	- 15 -
■投光器設定：1台のみの場合.....	- 17 -
・ Addressing(ネットワーク設定)：投光器1台のみの場合.....	- 17 -
・ Naming(投光器の名称)：投光器1台のみの場合.....	- 20 -
・ Config(設定)：投光器1台のみの場合.....	- 21 -
・ Certificates(証明書)：投光器1台のみの場合.....	- 22 -
・ Credentials(認証)：投光器1台のみの場合.....	- 25 -
・ Firmware Upload(ファームウェア更新)：投光器1台のみの場合.....	- 26 -
■投光器設定：複数台一括設定の場合.....	- 28 -
・ Addressing(ネットワーク設定)：複数台の場合.....	- 29 -
・ Naming(投光器の名称)：複数台の場合.....	- 32 -
・ Certificates (証明書)：複数台数の場合.....	- 36 -
・ Config(設定)：複数台数の場合.....	- 39 -
・ Credentials(認証)：複数台数の場合.....	- 41 -
・ Firmware Upload (ファームウェア更新)：複数台数の場合.....	- 43 -

■はじめに

Vario 2 IPPoE は、ウェブインターフェイスを備えたネットワーク投光器です。

Raytec DiscoMan（検出ツール）で、ネットワーク上の投光器を簡単に検出することができます。従来の検出ツールである Raytec Discovery Tool から大幅に改良をし、複数の投光器を同時に設定することが可能になりました。

投光器のモード、照度センサ、外部入力トリガーの設定に加え、HTTPS 証明書などの設定も、全て DiscoMan で行うことができるようになりました。

本取扱説明書では、Raytec Vario 2 IP PoE モデルの検出、システム診断等を行う DiscoMan について説明しております。

■システム要件

- ・ Windows10 以上
- ・ .Net framework 4.6.2

■ソフトダウンロード先

Raytec DiscoMan は、以下の URL にアクセスしてソフトをダウンロードしてください。

↓ Raytec Vario2 IP PoE モデル ダウンロード URL

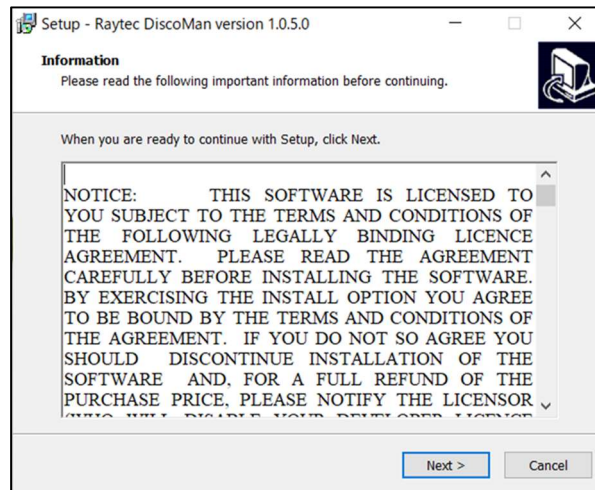
<https://www.optex.co.jp/support/download-cctv-lighting/>

■インストールの手引き

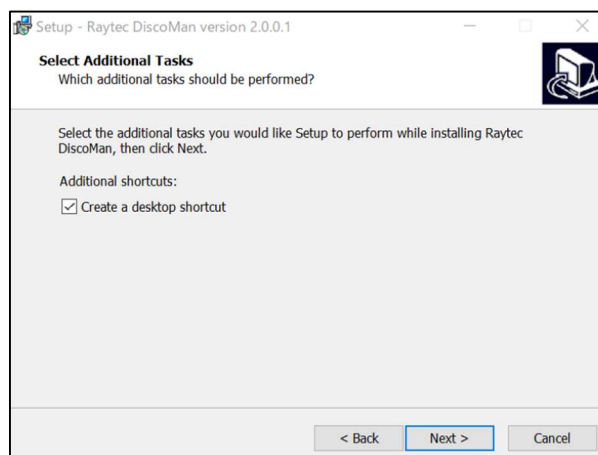
注意>>

本プログラムをインストールするには、管理者としてログオンする必要があります。

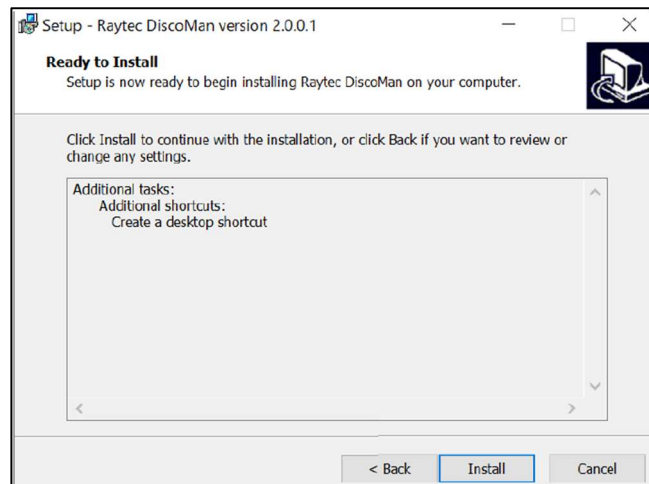
システム上で開いているプログラムをすべて閉じ、DiscoMan のインストーラーをダブルクリックして開きます。



DiscoMan のインストールにあたり、重要事項を確認した後、[Next(次へ)] をクリックすると次に進みます。[Create a desktop shortcut (ショートカットを作成する)] のチェックボックスにチェックを入れるとインストールと同時にショートカットを作成します。

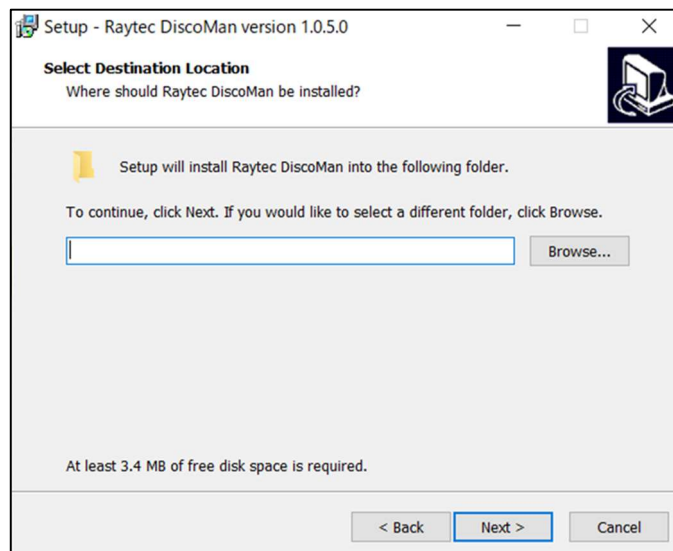


[Next(次へ)] をクリックして次へ進み、[Install(インストール)] をクリックします。

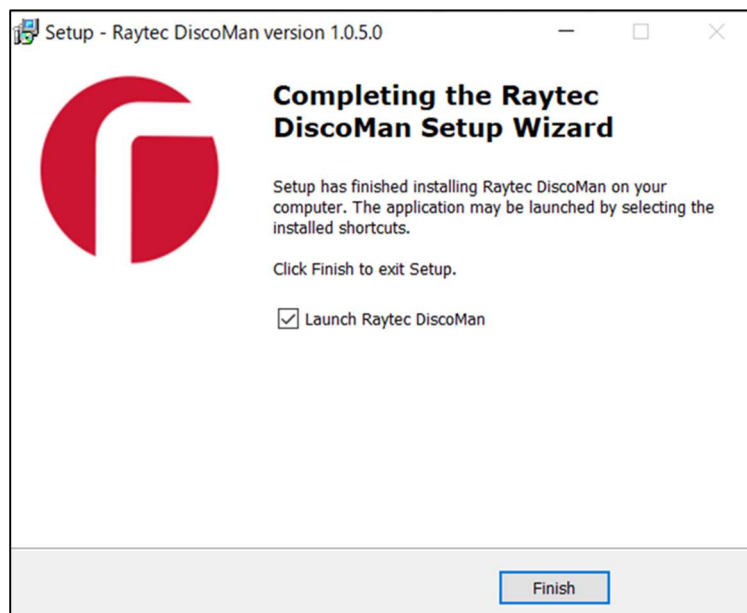


必要に応じてインストール場所を変更することもできます。変更するには [Option(オプション)] ボタンをクリックしてインストール場所を設定します。

変更は任意です。工場出荷値では、Program Files フォルダの Raytec Limited ¥ Raytec Discoman にインストールされます。



インストール終了後、[Finish(終了)] ボタンをクリックすると、DiscoMan のインストールが正常に完了します。



■ クイックスタート

DiscoMan は、投光器の管理者のログインなしで使用できる機能と、管理者のログインが必要な機能に分かれています。これらの機能については以下の通りです。

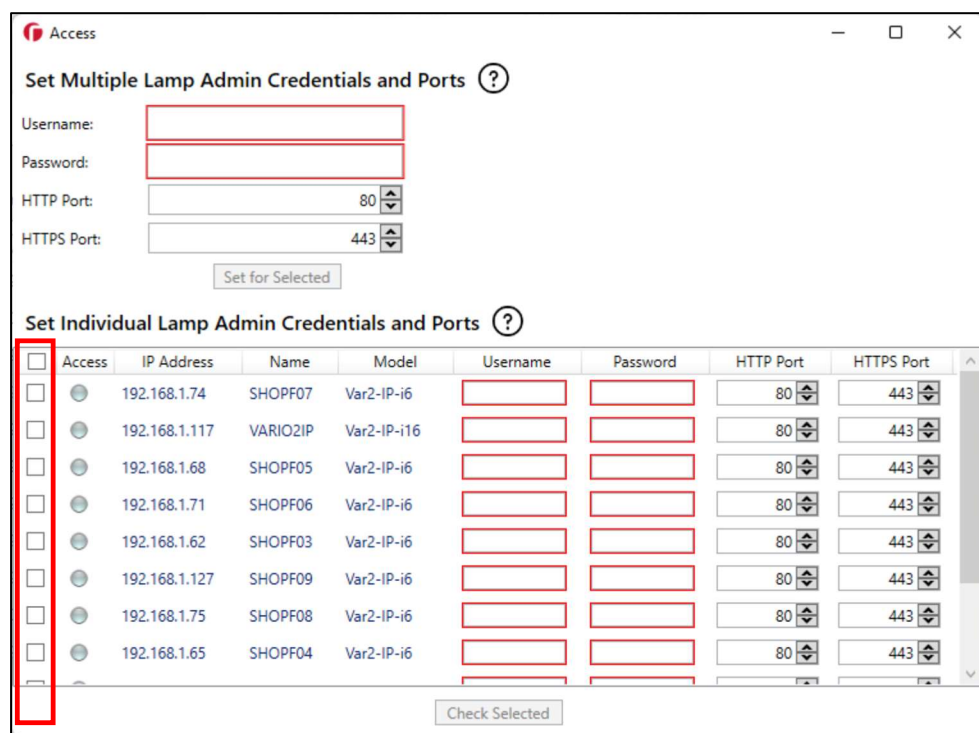
ログインの必要がないアクション

ログインが必要なアクション



DiscoMan では、いくつかあるアクションのうち、[Access(接続)]を通じて、1 つまたは複数の投光器へ簡単にログインすることができます。

この設定は一時的にログインが必要なアクションの設定を行う際に有効です。



Access	IP Address	Name	Model	Username	Password	HTTP Port	HTTPS Port
☐	192.168.1.74	SHOPF07	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.117	VARIO2IP	Var2-IP-i16			80	443
☐	192.168.1.68	SHOPF05	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.71	SHOPF06	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.62	SHOPF03	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.127	SHOPF09	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.75	SHOPF08	Var2-IP-i6			80	443
☐	192.168.1.65	SHOPF04	Var2-IP-i6			80	443

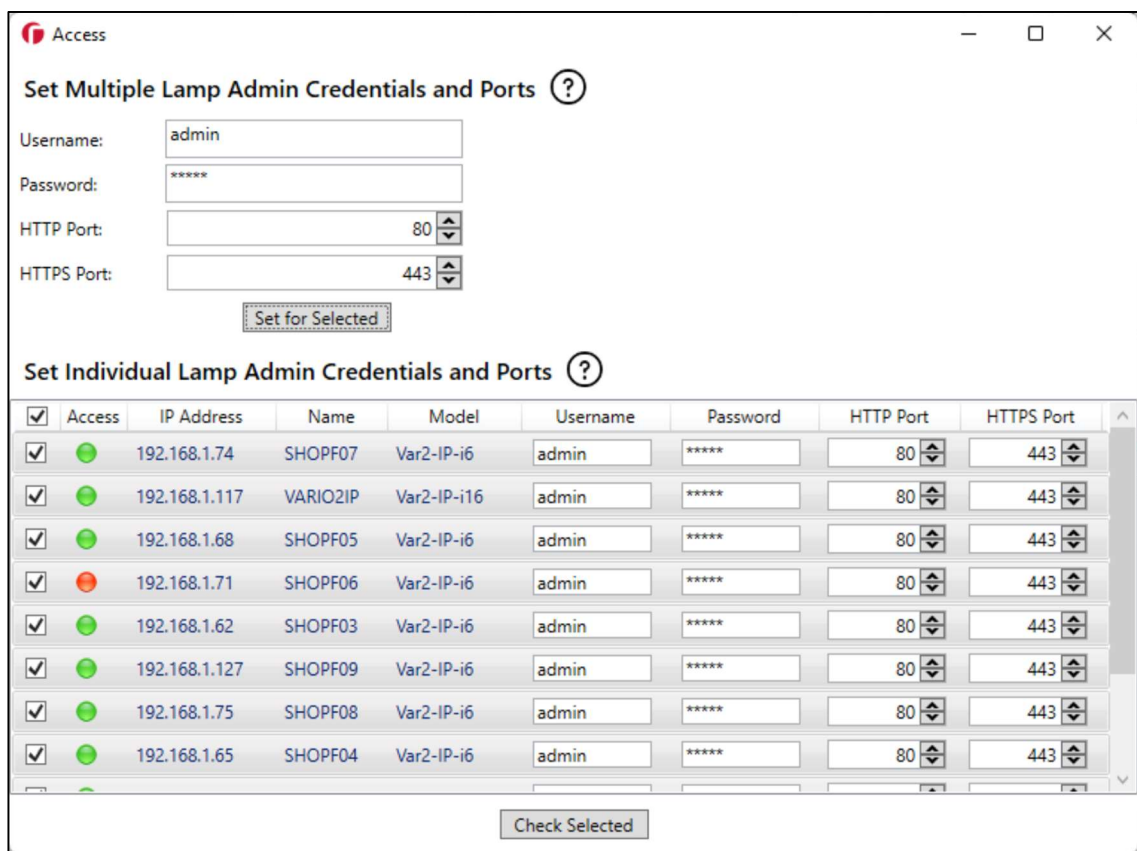
[Access(接続)]のページでは、1 つまたは複数の投光器へログインし、HTTP および/または HTTPS ポート情報等を設定できます。

リストの投光器のチェックボックスを選択するとログイン情報が入力できます。

初回ログイン時に変更した、任意のログイン情報[Username,Password(ユーザー名とパスワード)]を入力し、ログインに成功すると[Access(接続)]の列のステータスが緑色に表示されます。ログイン情報が正しくない場合、またはオペレーターのログイン情報を入力した場合は、ステータスが赤色に表示されます。

※ver2.5 移行初回ログイン時に初期パスワードの変更が必要となります。

あらかじめ専用ページで任意のパスワードに変更後に DiscoMan で接続してください。



The screenshot shows a software window titled 'Access'. It contains two main sections for configuring lamp credentials and ports.

Set Multiple Lamp Admin Credentials and Ports

Fields for configuration:

- Username: admin
- Password: *****
- HTTP Port: 80
- HTTPS Port: 443

Button: Set for Selected

Set Individual Lamp Admin Credentials and Ports

☒	Access	IP Address	Name	Model	Username	Password	HTTP Port	HTTPS Port
☒	●	192.168.1.74	SHOPF07	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.117	VARIO2IP	Var2-IP-i16	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.68	SHOPF05	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.71	SHOPF06	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.62	SHOPF03	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.127	SHOPF09	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.75	SHOPF08	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒	●	192.168.1.65	SHOPF04	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443

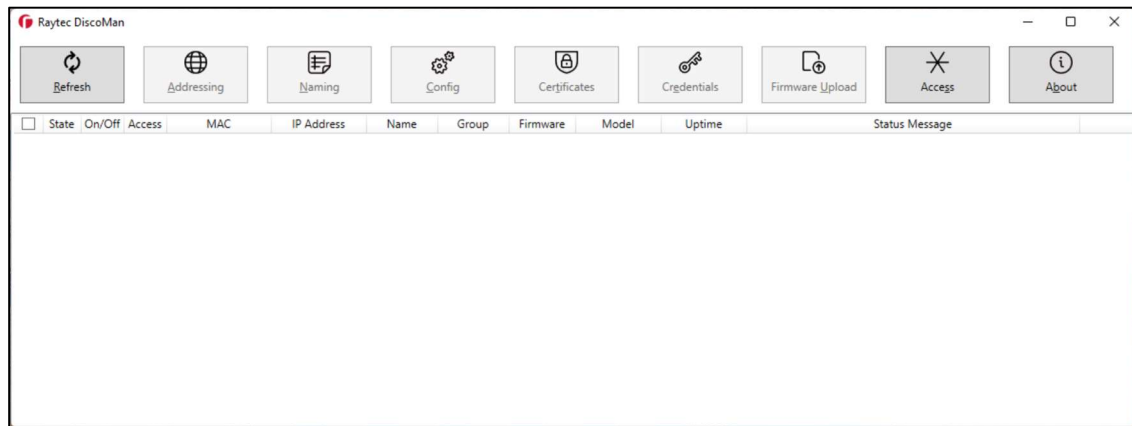
Button: Check Selected

※注意：ここでのログイン情報[Username,Password(ユーザー名とパスワード)]は、DiscoMan の実行中のみ設定が持続することに注意してください。

このログイン情報は DiscoMan が投光器に接続するためのものであり、投光器本体のログイン情報を新たに設定するものではありません。

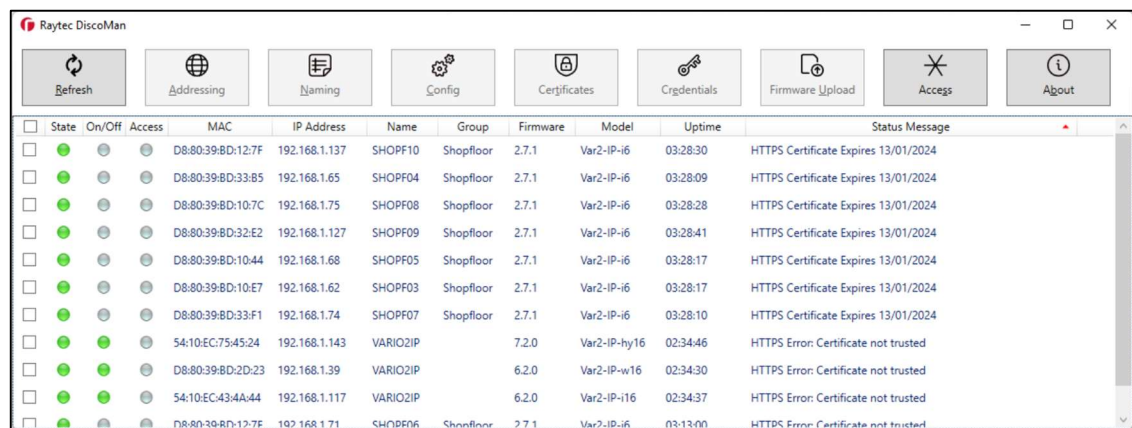
■DiscoMan を使用する

DiscoMan を起動するには、[スタート] -[すべてのプログラム]-
[Raytec DiscoMan]の順にクリックします。



・ 投光器検出

[Refresh(更新)] ボタンをクリックすると、ネットワーク上のすべての Vario 2 IP PoE が一覧表示されます。



※初期 IP アドレスに関して

工場出荷値では、新しい投光器の名称は VARIOIP、IP アドレスは 192.168.2.80、グループ名はなしとなっています。お使いのインストール環境で使用するには、有効なネットワーク設定と名称に変更する必要があります。

下記のファームウェアバージョンの場合は工場出荷状態で IP アドレスの自動取得が有効になります。

Hybrid モデル：ファームウェア ver 3.5 以降

Hybrid モデル以外：ファームウェア ver 2.5 以降

●State(状態)

Vario 2 IP PoE の現在の状態を示します。詳細についてはトラブルシューティングのセクションを参照してください。



灰色：投光器との通信ができていない状態



緑色：投光器が正常に動作



赤色：投光器の LED 故障もしくは入力電圧に問題がある状態

●On/Off

投光器の点灯／消灯の状態を表示します。

●Access(接続)

投光器がログインされているかを表示します。



灰色：投光器にログインしていない。



緑色：投光器へのログインが成功しており、全てのアクションが実行できます。



赤色：ログイン情報が有効ではないため、**ログインが必要なアクション**が実行できません。

●MAC Address(MAC アドレス)

選択した投光器の MAC アドレスです。変更することはできません。

●IP Address(IP アドレス)

投光器の現在の IP アドレスです。ネットワーク設定画面で変更ができます。

●Name(投光器の名称)

投光器の名称です。工場出荷値では、VARIOIP という名称になっています。
アクションバーの Naming 部分で変更できます。

●Group Name(グループ名)

投光器が属するグループの名称です。デフォルトでは、グループ名なしで出荷されています。
アクションバーの Naming 部分で変更できます。

●Firmware(ファームウェア)

投光器の現在のファームウェアバージョンを表示します。

●Model(型番)

投光器の型番です。

●Uptime(動作時間)

投光器が最後にリセットされてから現在までの時間です。動作時間のリセットは、投光器の電源オフ→オンまたはネットワーク設定の変更時に発生します。

●Status Message(状態メッセージ)

投光器の HTTPS 証明書の有無や HTTPS 証明書の有効期限がいつであるかを記載します。

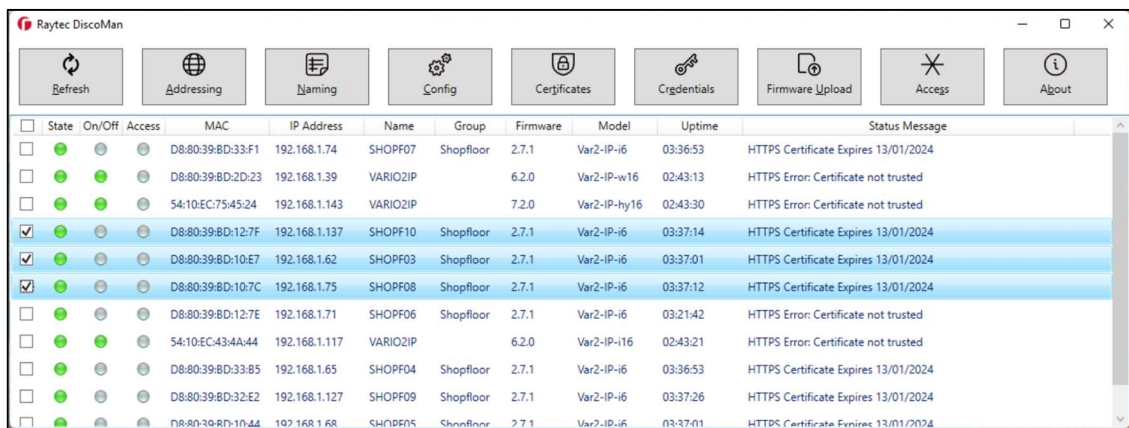
・ 投光器選択

DiscoMan では、現在接続されている投光器複数選択することができます。

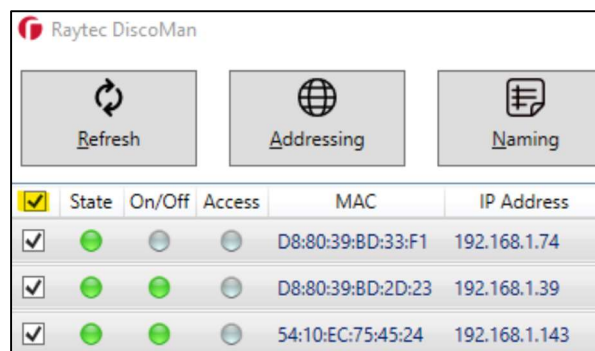
投光器の選択には、Checkboxes(チェックボックス)と Keyboard shortcuts(キーボードショートカット)の2つより行うことができます。

・ Checkboxes(チェックボックス)

検出された各投光器の横に表示されているチェックボックスを選択することで、1台もしくは2台以上の投光器を1度に選択することができます。



また、リストの最上部にあるチェックボックスを使うことで、すべての投光器を選択することもできます。(下図参照)



・ Keyboard shortcuts(キーボードショートカット)

キーボードショートカットによる操作を行うことができます。

- Shift + 上下カーソルキーで複数の投光器を選択します。
- Ctrl + A ですべての投光器を選択

・投光器のウェブブラウザの起動

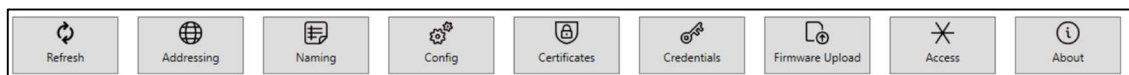
DiscoMan のリストから対象の投光器をダブルクリックすると、お使いのウェブブラウザで、投光器を遠隔操作する専用ウェブブラウザを開くことができます。

複数の投光器を選択して Enter キーを押すと、複数のウェブブラウザを開くこともできます。その際に、この操作の実行を確認するページが表示されます。



[Access(接続)]で HTTP もしくは HTTPS ポートを変更した場合、専用ウェブブラウザは設定されたポートで開きます。投光器に有効な HTTPS 証明書がある場合は、https://<ip_address> などの安全なウェブインターフェイスで開かれます。

・アクションバー



DiscoMan のリストから対象の投光器を 1 台以上選択するとリスト上部にある、上図のようなアクションバーの項目が選択できるようになります。

Addressing、Naming、Config、Certificates、Credentials、Firmware Upload の各項目はそれぞれの設定変更に対応しており、1 台の投光器を選択した場合は 1 つのウィンドウが、複数の投光器を選択した場合は別のウィンドウが表示されます。

アクションバー記載の各機能についての説明は以下の通りです。

●Addressing(ネットワーク設定)

投光器の IP アドレスとサブネットマスクを変更するか、投光器が DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得するように設定します。

●Naming(投光器の名称)

投光器の名称を変更し、グループ名を変更します。

●Config(設定)

投光器のウェブブラウザの設定で変更できるものはすべて、Config(設定)画面より変更することができます。

例：Lamp mode(モード)の変更

Photocell(照度センサ)や External Input(外部入力)の Trigger Control(トリガー調整)

●Certificates(証明書)

独自の認証局 (CA : Certificate Authority) を生成するか、既存の CA をインポートして投光器の HTTPS 証明書に署名し、アップロードします。

●Credentials(認証)

管理者パスワードとオペレーターパスワードを更新します。

●Firmware Upload(ファームウェア更新)

投光器のファームウェアを更新します。

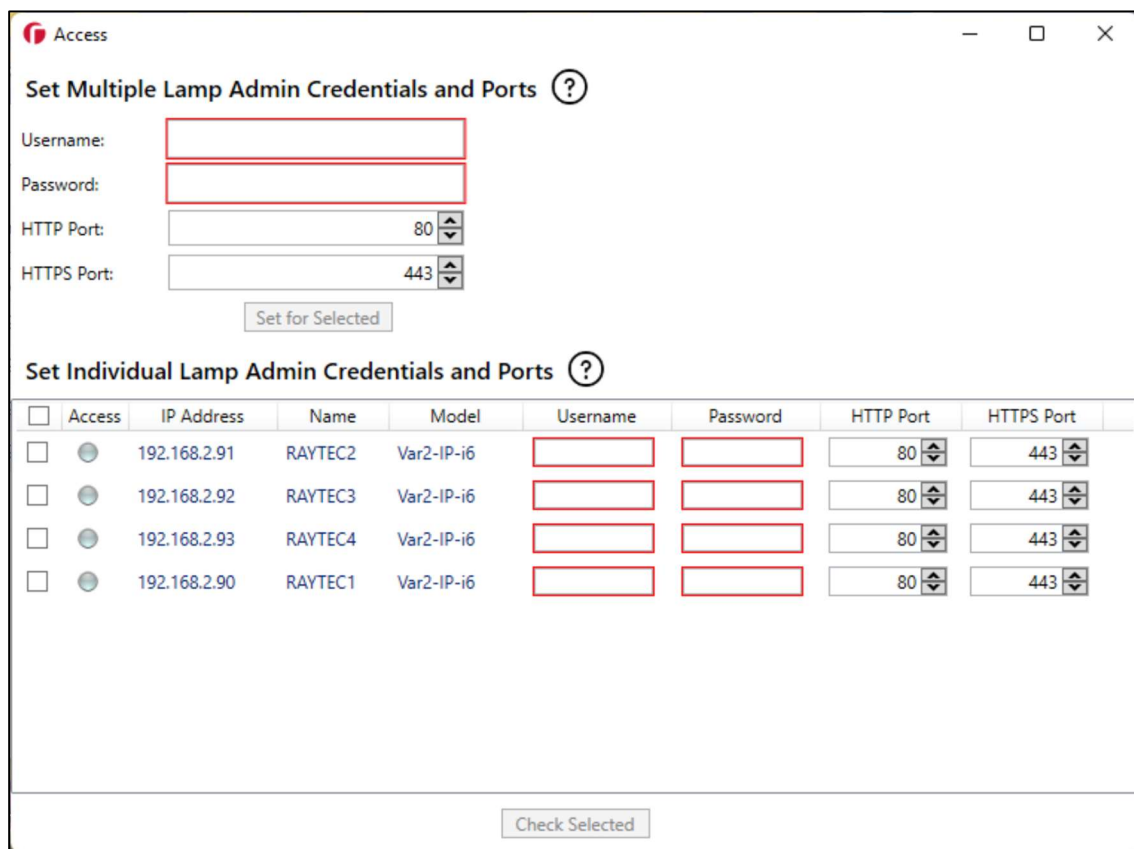
※注意：

上記のアクションのいくつかは、[Access(接続)]を使用して投光器へログインをしておく必要があります。

Addressing と Naming は Raytec API を使用するため、ログインを行わなくても使用できますが、Config、Certificates、Credentials、Firmware Upload は、Raytec API の一部ではないため、[Access(接続)]を使用して投光器へログインをしておく必要があります。

■Access（接続）

[Access(接続)]のページにて初回ログイン時に設定した新たなユーザー名とパスワードを記入することで、ユーザーは DiscoMan を実行中の間、いつでも Certificates, Config, Credentials そして Firmware Upload を使用することができます。



Set Multiple Lamp Admin Credentials and Ports (?)

Username:

Password:

HTTP Port:

HTTPS Port:

Set Individual Lamp Admin Credentials and Ports (?)

☐	Access	IP Address	Name	Model	Username	Password	HTTP Port	HTTPS Port
☐		192.168.2.91	RAYTEC2	Var2-IP-i6			80	443
☐		192.168.2.92	RAYTEC3	Var2-IP-i6			80	443
☐		192.168.2.93	RAYTEC4	Var2-IP-i6			80	443
☐		192.168.2.90	RAYTEC1	Var2-IP-i6			80	443

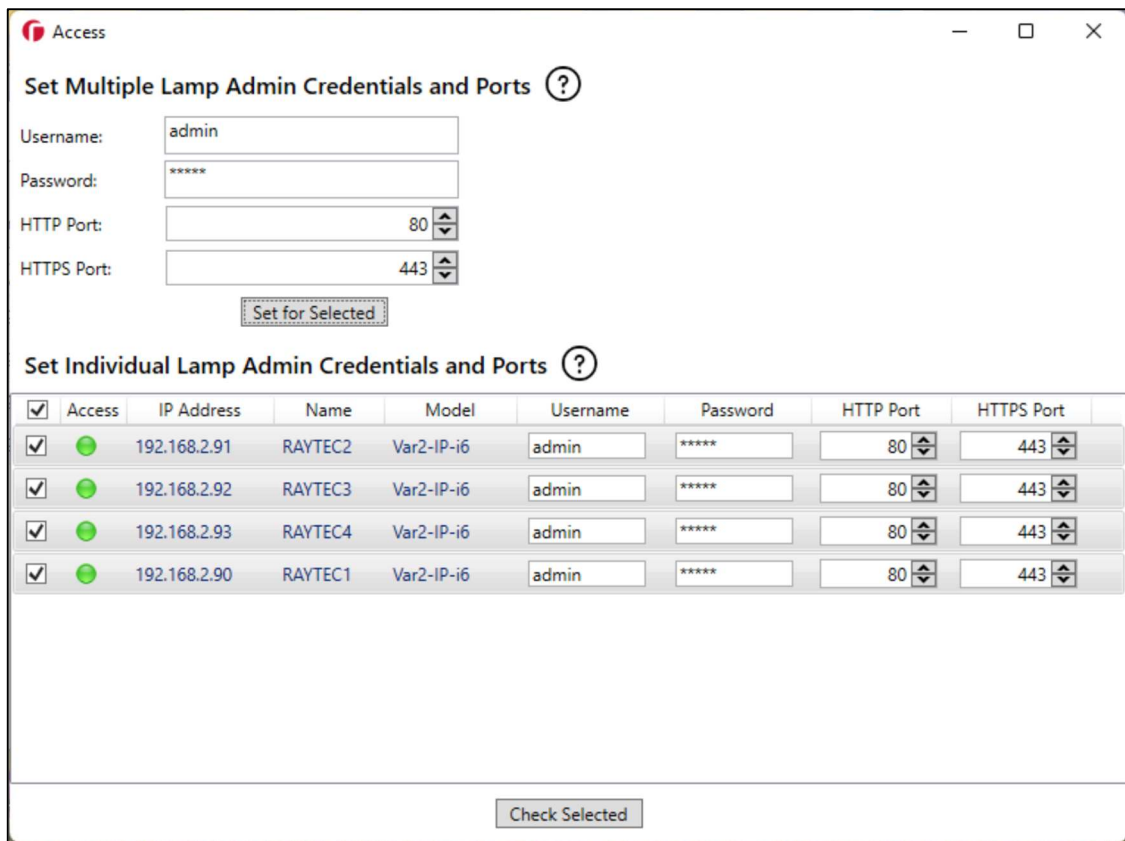
一度に1つまたは複数の投光器へログインできます。

また、DiscoMan の投光器への接続をより確実にするために、投光器の HTTP もしくは HTTPS のポートを設定することができます。

※注意:

Access では投光器本体のログイン情報や HTTP/HTTPS ポートの変更は行いません。この機能は、ユーザーが DiscoMan 上で Certificates, Config, Credentials そして Firmware Upload といった”ログインが必要なアクション”を実行できるように、決められたログインとポート番号で投光器へログインするというものです。

正しいログイン情報を入力すると、ログインが完了し、Access 列のステータスが黄色から緑色に変わります。



Set Multiple Lamp Admin Credentials and Ports (?)

Username:

Password:

HTTP Port:

HTTPS Port:

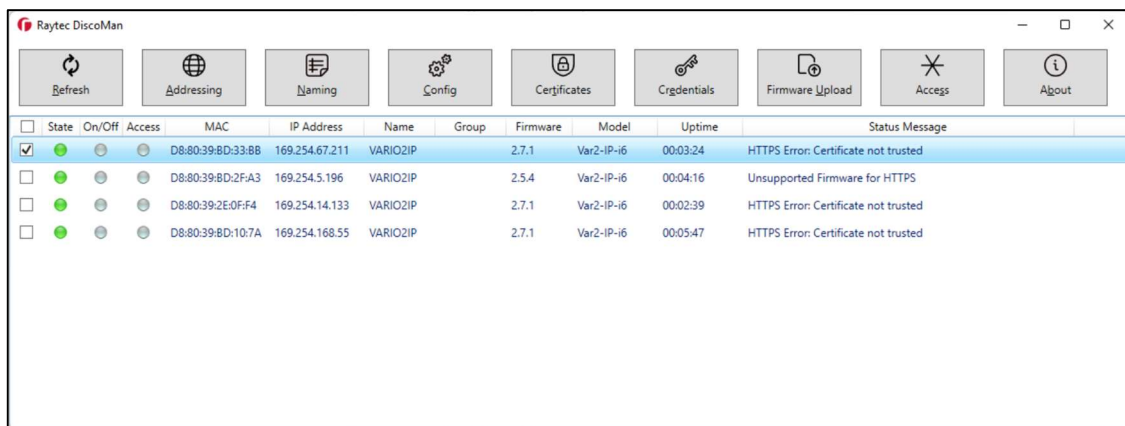
Set Individual Lamp Admin Credentials and Ports (?)

☒	Access	IP Address	Name	Model	Username	Password	HTTP Port	HTTPS Port
☒		192.168.2.91	RAYTEC2	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒		192.168.2.92	RAYTEC3	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒		192.168.2.93	RAYTEC4	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443
☒		192.168.2.90	RAYTEC1	Var2-IP-i6	admin	*****	80	443

Access 列のステータスが緑色になると、ログインが必要なアクションが実行できるようになります。

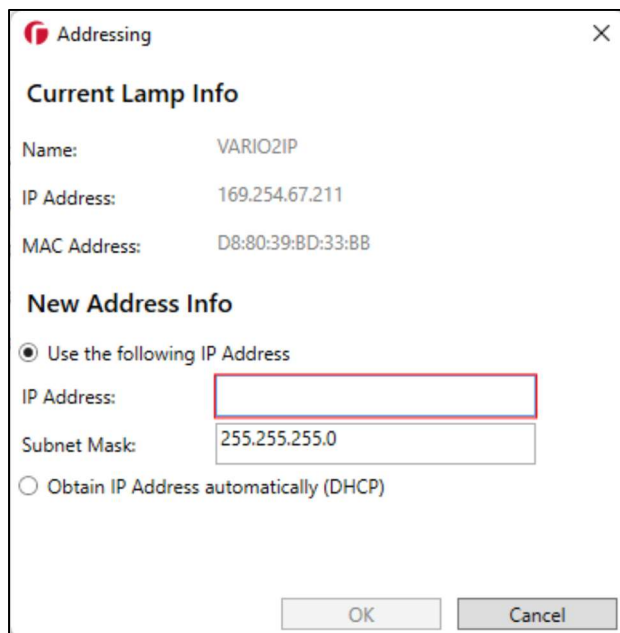
■投光器設定：1 台のみの場合

DiscoMan のリストから対象の投光器を 1 台選択したときのアクションバーの表示ウィンドウを紹介します。まず、投光器を 1 台選択します。



・ Addressing(ネットワーク設定)：投光器 1 台のみの場合

設定したい投光器をリストから選択し、[Addressing(ネットワーク設定)] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



選択した投光器に固定 IP アドレスを設定するか、DHCP サーバーから IP アドレスを取得することができます。

IP アドレスの設定方法は以下の 2 種類から選ぶことができます。

● Use the following IP address(以下の IP アドレスを使用)

特定の IP アドレスとサブネットマスクを指定し、変更されない限り、ネットワーク設定は保持されます。

お使いのネットワーク上で必ず一意の IP アドレスを指定する必要があります。

重複した場合、不具合が発生する恐れがあります。[IP Address(IP アドレス)]欄に IP アドレスを入力してください。入力しない場合、サブネットマスクが自動的に設定されます。新しいサブネットマスクは、ネットワーク設定に適合するかどうか設定する前に必ず検証してください。

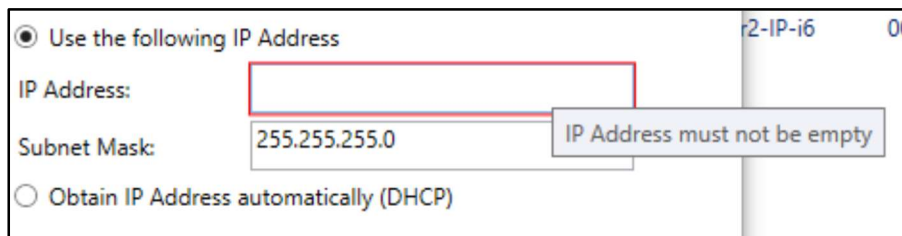
いずれの場合も、ネットワークに必要な設定についてネットワーク管理者に確認する必要があります。投光器を正しく設定するために、事前にネットワーク管理者へお問合せください。

● Obtain IP address automatically(DHCP)(IP アドレスを自動取得(DHCP を使用))

このオプションを選択した場合、投光器はお使いのネットワーク上の DHCP サーバーに対してネットワーク設定を要求します。なお、この設定を使用した場合、IP アドレスが変わる事がございますので、ご注意ください。

・ 固定 IP アドレス設定

IP アドレス設定ウインドウを開くと、IP アドレス欄がエラーを示すために赤く強調され、テキストボックスにカーソルを合わせると、エラーが表示されます。



The screenshot shows a configuration window with two radio buttons. The first radio button, labeled "Use the following IP Address", is selected. Below it are two text input fields: "IP Address:" and "Subnet Mask:". The "IP Address:" field is empty and has a red border, indicating an error. The "Subnet Mask:" field contains the text "255.255.255.0". A tooltip message "IP Address must not be empty" is displayed over the empty IP address field. The second radio button is labeled "Obtain IP Address automatically (DHCP)".

☒ Use the following IP Address

IP Address:

Subnet Mask:

☐ Obtain IP Address automatically (DHCP)

OK Cancel

IP アドレスを入力後、[OK] をクリックすると、DiscoMan のメインウィンドウに戻りますので[Refresh(更新)]ボタンをクリックすると変更が反映されます。

☐	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☐	●	●	●	D8:80:39:8D:2F:A3	169.254.5.196	VARIO2IP		2.5.4	Var2-IP-i6	00:10:39	Unsupported Firmware for HTTPS
☐	●	●	●	D8:80:39:8D:10:7A	169.254.168.55	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:12:09	HTTPS Error: Certificate not trusted
☒	●	●	●	D8:80:39:8D:33:8B	192.168.2.90	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:00:02	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	169.254.14.133	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:09:03	HTTPS Error: Certificate not trusted

IP アドレス変更後は投光器の再起動が必要で、[Uptime(動作時間)]の欄に反映されていることがわかります。

・DHCP(アドレスの自動設定)

投光器のネットワーク設定を DHCP サーバーによって設定することを選択した場合、ネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認する必要があります。

このオプションを選択すると次の警告が表示されます。

☒ Obtain IP Address automatically (DHCP)

Ensure you have the lamp connected to a network with a DHCP server when using this option

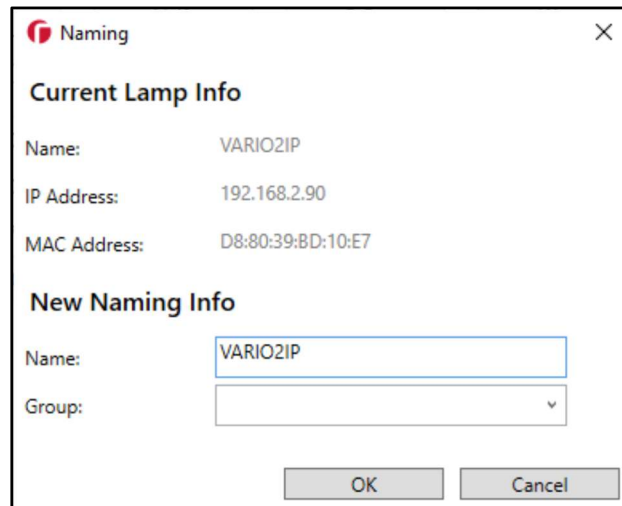
[Obtain IP address automatically(DHCP)(IP アドレスを自動取得(DHCP を使用))]を選択すると、[OK]ボタンがすぐに有効になります。

[OK]をクリックし、[Refresh(更新)]をクリックすると、投光器の新しい IP アドレスが、固定 IP アドレス設定と同じ方法で表示されます。

☐	State	On/Off	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime
☐	●	●	D8:80:39:2E:10:57	192.168.2.80	VARIO2IP		2.1.3	Var2-IP-i6	00:01:08
☐	●	●	D8:80:39:2E:17:66	192.168.2.80	VARIO2IP		2.1.3	Var2-IP-i6	00:01:00
☐	●	●	D8:80:39:2E:10:5A	192.168.2.80	VARIO2IP		2.1.3	Var2-IP-i6	00:00:44
☐	●	●	D8:80:39:BD:10:E7	192.168.1.73	VARIO2IP		2.1.3	Var2-IP-i6	00:00:01

・ Naming(投光器の名称)：投光器 1 台のみの場合

設定したい投光器をリストから選択し、[Naming(投光器の名称)] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



The dialog box is titled "Naming" and contains two sections:

- Current Lamp Info**
 - Name: VARIO2IP
 - IP Address: 192.168.2.90
 - MAC Address: D8:80:39:BD:10:E7
- New Naming Info**
 - Name:
 - Group:

At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

このリストで投光器の名称やグループ名を変更できますが、ネットワーク設定画面同様、[OK]をクリックするまで変更内容は反映されません。

●Name(投光器の名称)

投光器の名称はネットワーク上で一意の名称とし、設置場所や役割がわかる名前にする必要があります。投光器の名称は、ネットワーク上で他の投光器と通信するために使用します。

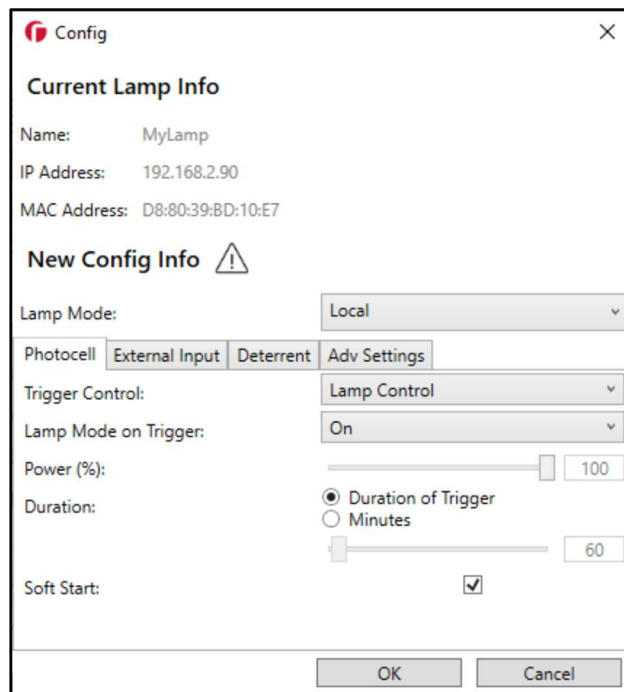
●Group Name(グループ名)

グループ名は空白でもかまいません。空白の場合、投光器はネットワーク上のどのグループも属していないことになります。グループ名を設定すると、特定の投光器群をまとめて操作できるようになります。グループの使用に関する情報は、専用ウェブ操作ガイドに記載されています。

前項の[Addressing(ネットワーク設定)：投光器 1 台のみの場合]と同様に、変更後[OK]をクリックし、[Refresh(更新)]をクリックすると設定が反映されます。

・ Config(設定)：投光器 1 台のみの場合

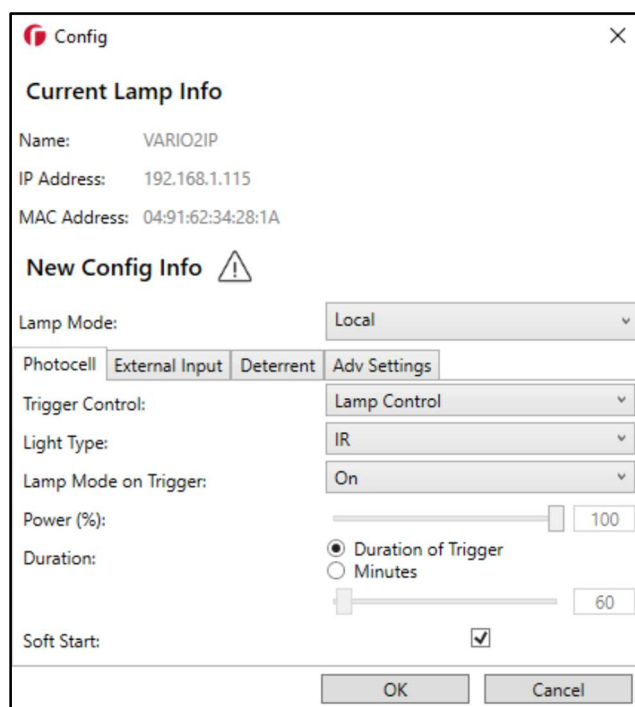
設定したい投光器をリストから選択し、[Config(設定)] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



The Config window displays the following information:

- Current Lamp Info**
 - Name: MyLamp
 - IP Address: 192.168.2.90
 - MAC Address: D8:80:39:BD:10:E7
- New Config Info** (Warning icon)
 - Lamp Mode: Local
 - Photocell | External Input | Deterrent | Adv Settings (selected)
 - Trigger Control: Lamp Control
 - Lamp Mode on Trigger: On
 - Power (%): 100
 - Duration:
 - ☒ Duration of Trigger
 - ☐ Minutes
 - Soft Start: ☒

Hybrid モデルの場合、[Photocell(照度センサ)]や[External Input(外部入力)]のタブに[Light Type(投光タイプ)]の項目が表示されます。



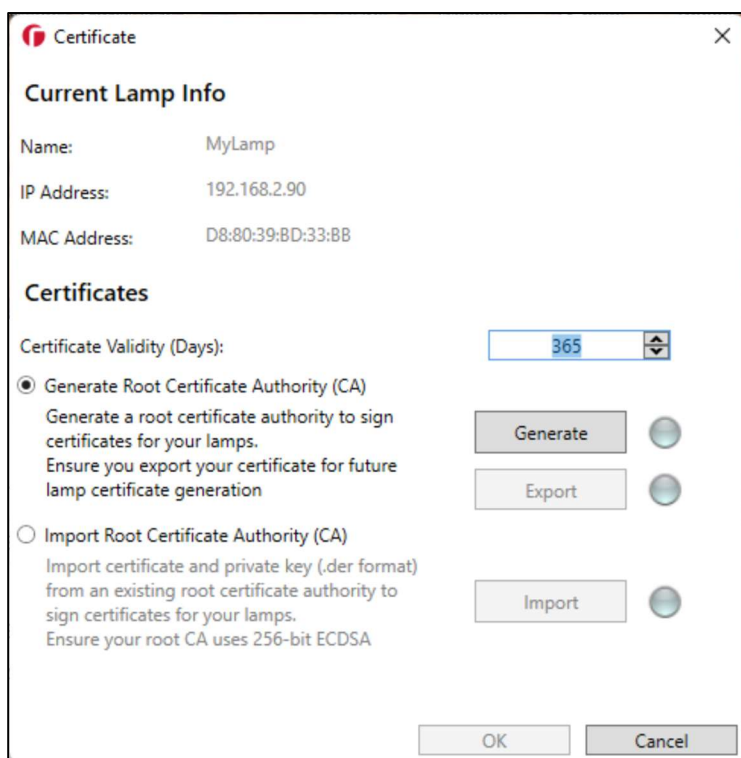
The Config window displays the following information:

- Current Lamp Info**
 - Name: VARIO2IP
 - IP Address: 192.168.1.115
 - MAC Address: 04:91:62:34:28:1A
- New Config Info** (Warning icon)
 - Lamp Mode: Local
 - Photocell | External Input | Deterrent | Adv Settings (selected)
 - Trigger Control: Lamp Control
 - Light Type: IR
 - Lamp Mode on Trigger: On
 - Power (%): 100
 - Duration:
 - ☒ Duration of Trigger
 - ☐ Minutes
 - Soft Start: ☒

[Config(設定)]のウインドウでは、Vario 2 IP PoE 専用ウェブブラウザ[Settings/Groups(設定／グループ)]および [Advanced Settings(詳細設定)]タブに記載のすべての設定を行うことができます。

・ Certificates(証明書)：投光器 1 台のみの場合

設定したい投光器をリストから選択し、[Certificates(証明書)] ボタンをクリックすると次のようなウインドウが表示されます。



The image shows a 'Certificate' configuration window. It has a title bar with a red icon and a close button. The window is divided into two main sections. The top section, 'Current Lamp Info', displays the following details: Name: MyLamp, IP Address: 192.168.2.90, and MAC Address: D8:80:39:BD:33:8B. The bottom section, 'Certificates', contains a 'Certificate Validity (Days)' spinner set to 365. Below this are two radio button options. The first option, 'Generate Root Certificate Authority (CA)', is selected and includes a description: 'Generate a root certificate authority to sign certificates for your lamps. Ensure you export your certificate for future lamp certificate generation'. To its right are 'Generate' and 'Export' buttons. The second option, 'Import Root Certificate Authority (CA)', is unselected and includes a description: 'Import certificate and private key (.der format) from an existing root certificate authority to sign certificates for your lamps. Ensure your root CA uses 256-bit ECDSA'. To its right is an 'Import' button. At the bottom of the window are 'OK' and 'Cancel' buttons.

以下のファームウェアバージョンでは、HTTPS 証明書を投光器にアップロードして、HTTPS による、より安全なネットワーク通信を行うことができます。

Lamp	Firmware
Vario2 IPPoE	v2.7.1
Vario2 Hybrid IPPoE	v3.6.9
Vario2 16 IPPoE	v6.2.0
Vario2 Hybrid 16 IPPoE	v7.2.0

[Certificates(証明書)]では、新規の認証局(CA)の生成や、既存の CA をインポートして投光器の HTTPS 証明書に署名することができます。

●Generate Root Certificate Authority(ルート認証局(CA)の生成)

投光器の HTTP 証明書に署名する新しい認証局(CA)を生成します。有効期限は1週間から10年の間で選択できます。

生成されたルート CA を使用して証明書を作成し、投光器にアップロードします。

※HTTP 証明書に関する詳細は下記 Raytec HTTPS セットアップガイドを参照してください。

Raytec HTTPS セットアップガイドは、以下の URL にアクセスしてダウンロードいただけます。

<https://www.optex.co.jp/support/download-cctv-lighting/>

● Import Root Certificate Authority (既存のルート認証局(CA)のインポート)

このオプションは、ユーザーへ以下の2つのファイルを要求します。

- ① Root CA file in .der format
- ② Private key file in .der format

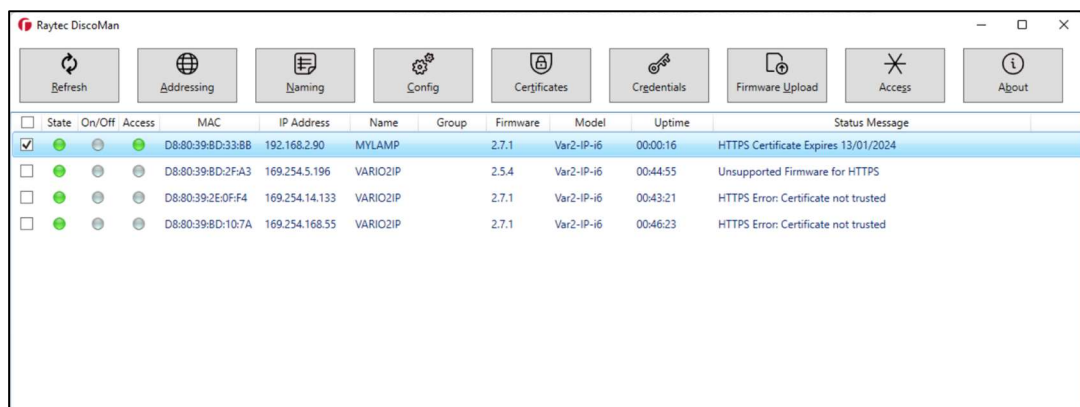
また、このオプションを選択する場合、以下の2つのシナリオのいずれかに該当することになります。

① DiscoMan でルート CA を生成後、証明書の対象にしたい投光器が増えた場合
上記の場合、ルート CA を生成する際にエクスポートした Certificate.der および private.der ファイルをインポートする必要があります。
その後、DiscoMan はこれらのファイルを使用して、追加した投光器の証明書に署名することができます。

② DiscoMan を通して生成されていない、既存の CA がある場合
上記の場合、CA が使用する暗号アルゴリズムが ECDSA であり、秘密鍵の鍵長が 256 bit であることを確認する必要があります。それ以外の暗号アルゴリズムと秘密鍵の鍵長の場合はサポートされません。
また、ルート CA と秘密鍵のファイルが DER 形式でなければなりません。

CA をインポートすると、DiscoMan は投光器の証明書に署名することができます。

有効な CA を生成またはインポート後に[OK]をクリックし、[Refresh(更新)]をクリックすると設定が反映されます。



証明書のアップロード後は投光器を再起動する必要があります。

※Status Message(状態メッセージ)欄に”HTTPS Error : Certificate not trusted ”と表示されている場合は、使用するルート CA が PC から信頼されていることを確認する必要があります。この方法の詳細については、当社の”Raytec HTTPS セットアップガイド”を参照してください。

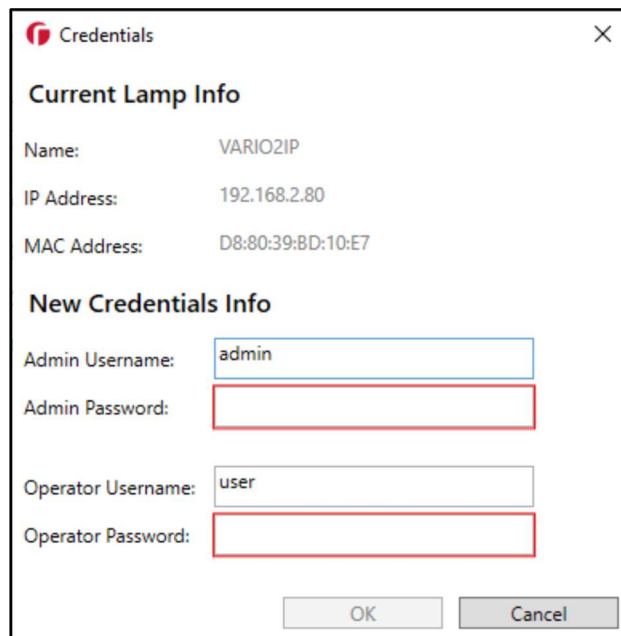
“Raytec HTTPS セットアップガイド”の URL に関しては本書の P.23 に記載されております。

※注意；

[Certificates(証明書)]はログインが必要なアクションであり、使用する前に Access を通して投光器へログインをする必要があります。DiscoMan 上で投光器へログインする方法については、本書の”クイックスタート”または”Access”を参照してください。

・ Credentials(認証)：投光器 1 台のみの場合

設定したい投光器をリストから選択し、[Credentials(認証)] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



The screenshot shows a window titled "Credentials" with a close button (X) in the top right corner. It is divided into two sections:

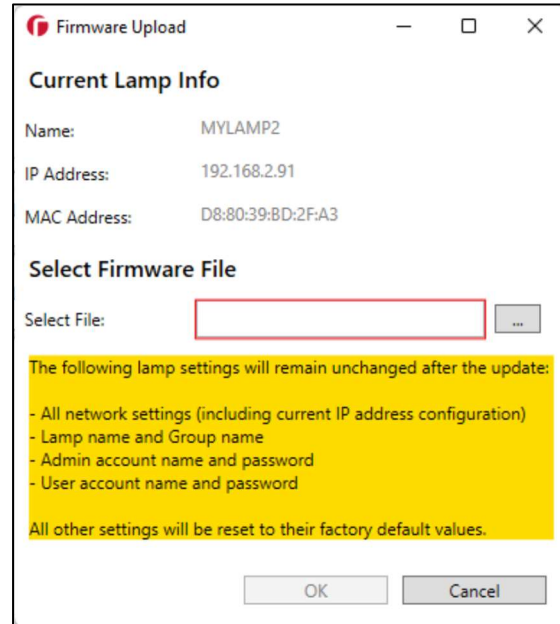
- Current Lamp Info:**
 - Name: VARIO2IP
 - IP Address: 192.168.2.80
 - MAC Address: D8:80:39:BD:10:E7
- New Credentials Info:**
 - Admin Username:
 - Admin Password:
 - Operator Username:
 - Operator Password:

At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "Cancel".

[Credentials(認証)]のウィンドウでは管理者アカウントとオペレーターアカウントのユーザー名とパスワードを設定できます。

- ・ Firmware Upload(ファームウェア更新)：投光器 1 台のみの場合

設定したい投光器をリストから選択し、[Firmware Upload(ファームウェア更新)] ボタンをクリックすると次のようなウインドウが表示されます。



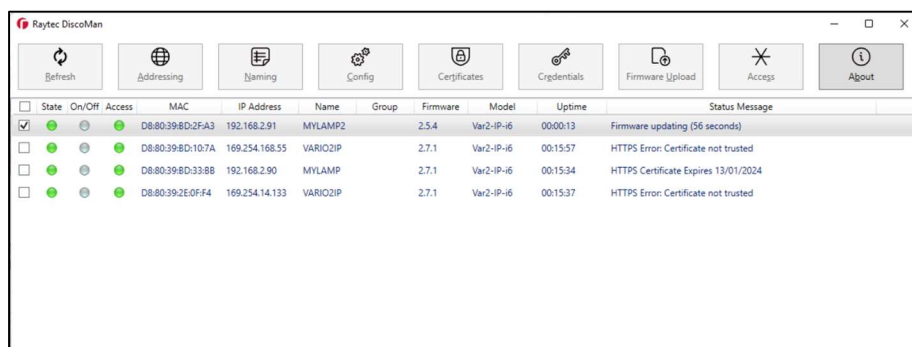
[Firmware Upload(ファームウェア更新)]では、選択した投光器にアップロードしたいファームウェアファイルを選択できます。

ページをロードすると、Select File テキストボックスが赤く表示されます。

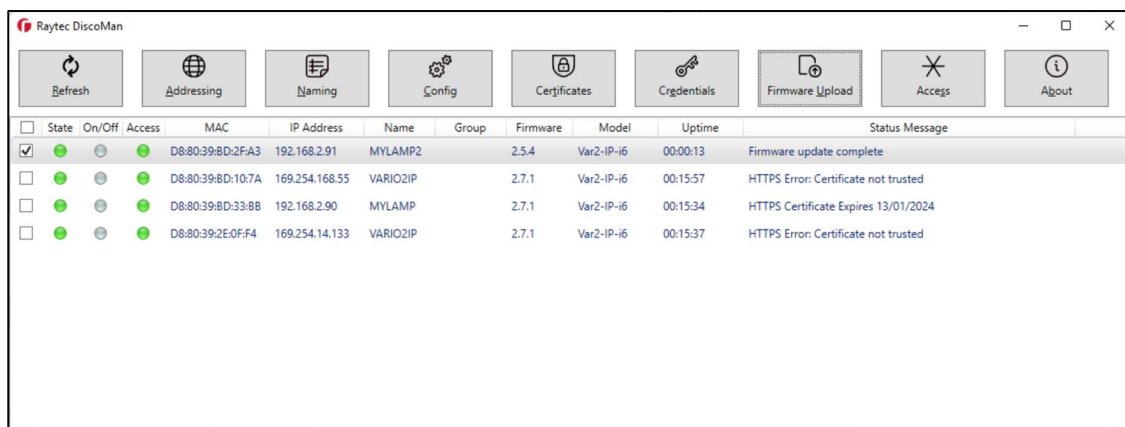
更新する投光器のモデルに有効なファイルを選択する必要があります。

- ・ Hybrid モデル以外 ： "Var2_IPPoE"で始まるファイルを選択する必要があります。
- ・ Hybrid モデルの場合："Hybrid_IPPoE"で始まるファイルを選択する必要があります。

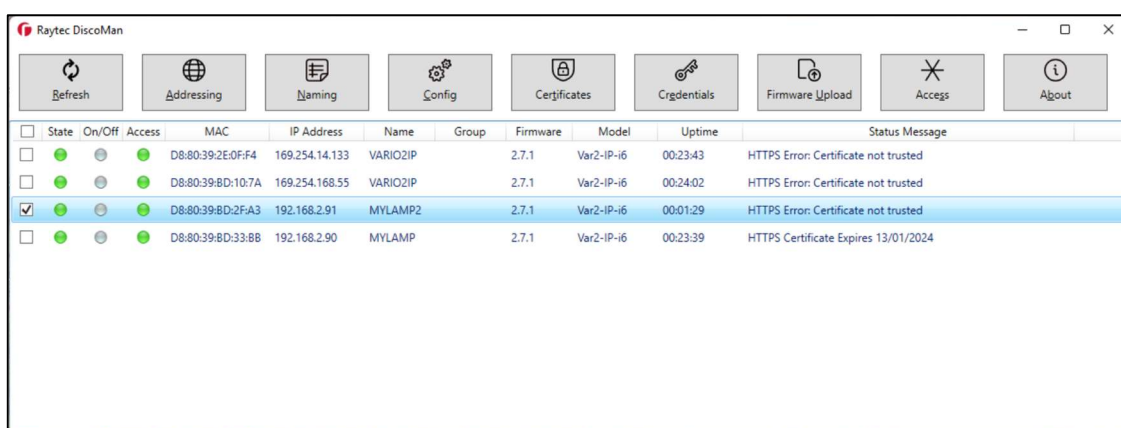
有効なファイルを選択し、「OK」をクリックすると、Status Message に"Firmware Update Requested for the lamp"というメッセージが表示されます。数秒後、アクションバーの About 以外のすべてのアクションが無効になり、Status 列に 1 分間のカウントダウンが始まります。



1 分後、Status Message に” Firmware update complete(ファームウェアのアップデートが完了しました)”と表示され、再びすべてのアクションが実行可能になります。



Raytec DiscoMan											
Refresh Addressing Naming Config Certificates Credentials Firmware Upload Access About											
☐	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☒	●	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.91	MYLAMP2		2.5.4	Var2-IP-i6	00:00:13	Firmware update complete
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	169.254.168.55	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:15:57	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.90	MYLAMP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:15:34	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024
☐	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	169.254.14.133	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:15:37	HTTPS Error: Certificate not trusted



Raytec DiscoMan											
Refresh Addressing Naming Config Certificates Credentials Firmware Upload Access About											
☐	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☐	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	169.254.14.133	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:23:43	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	169.254.168.55	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:24:02	HTTPS Error: Certificate not trusted
☒	●	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.91	MYLAMP2		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:29	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.90	MYLAMP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:23:39	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024

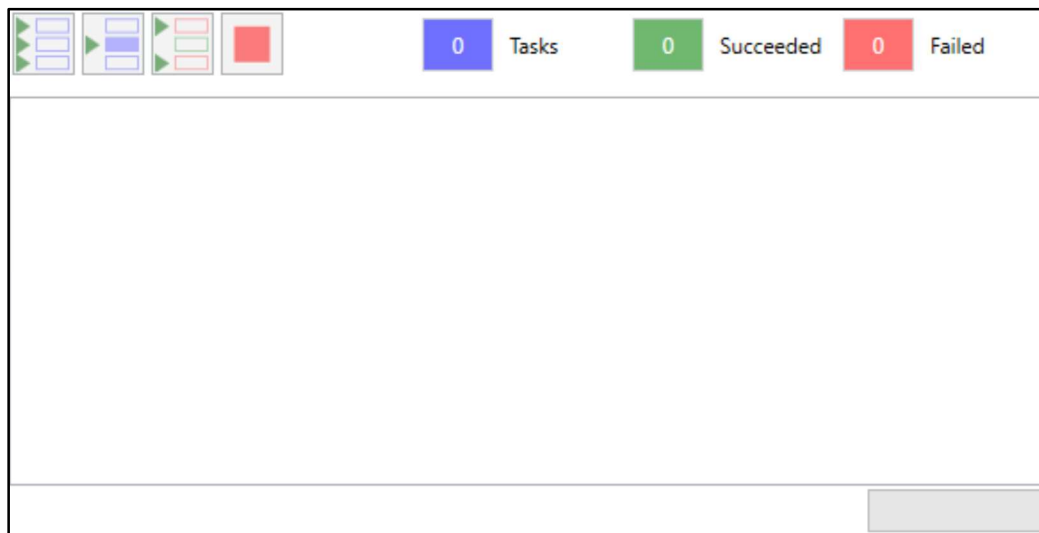
※注意：

ファームウェアの更新後も、投光器のログイン情報、IP アドレス、名称、グループ名は変更されません。

ファームウェアの更新中に設定や詳細設定（DiscoMan の Config に表示されるもの）の設定は失われるため、再設定する必要があります。

■投光器設定：複数台一括設定の場合

DiscoMan にて複数の投光器の設定を行う場合にタスク機能を使用します。タスク機能は下図の左上のイメージとなります：



Play All Tasks

全てのタスクを実行します。



Play Selected Task

選択したタスクを実行します。



Replay Failed Tasks

エラーのタスクを再実行します。



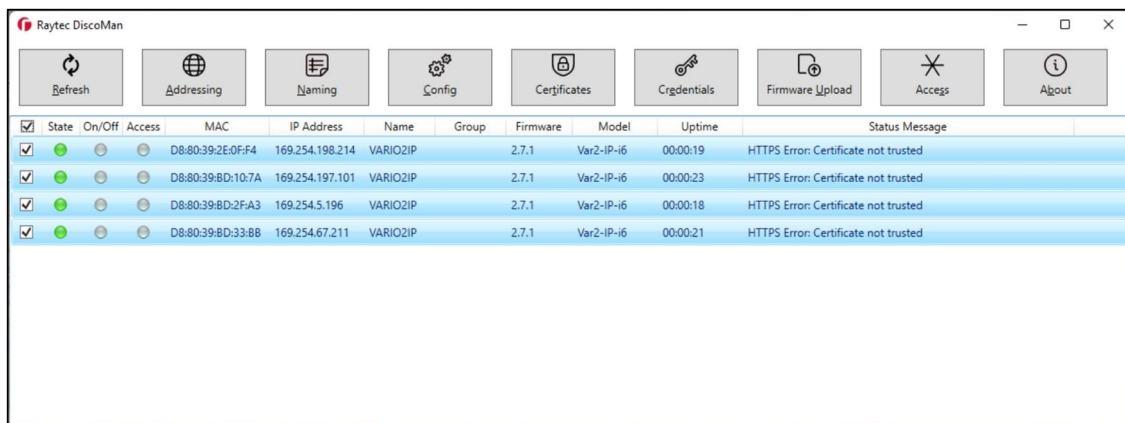
停止

現在のタスクが完了した後、タスクの実行を停止します。

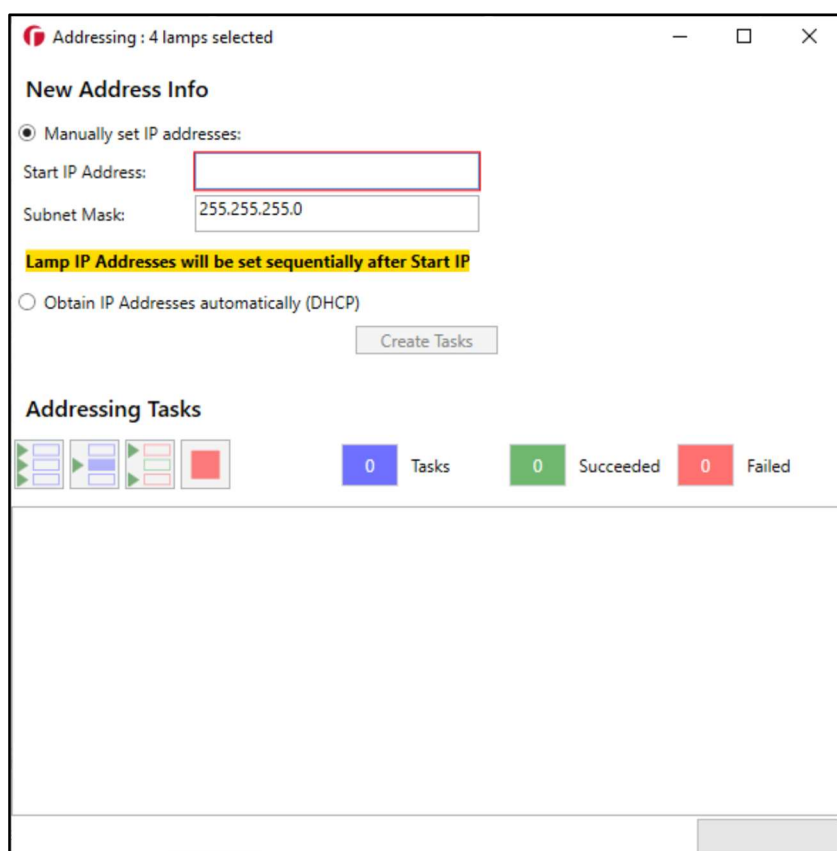
各ウィンドウで'Create Tasks'をクリックすると、タスクリストにタスクが入力されます。

・ Addressing(ネットワーク設定)：複数台の場合

DiscoMan のリストから対象の投光器を複数台選択します。



[Addressing(ネットワーク設定)]をクリックすると、指定された投光器のウィンドウがポップアップし、タイトルバーに選択されている投光器の数が表示されます。

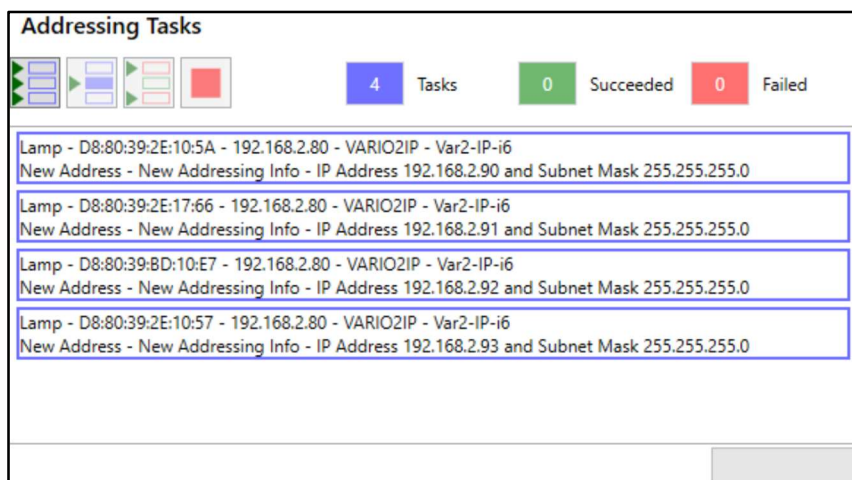


●Manually set IP Addresses(手動 IP アドレス設定)

[Manually set IP Addresses(手動 IP アドレス設定)]では、DHCP サーバーによって自動的に IP アドレスが設定されません。

IP アドレスは手動で設定した IP アドレスの末尾に合わせて、選択した複数の投光器に順番に設定されます。

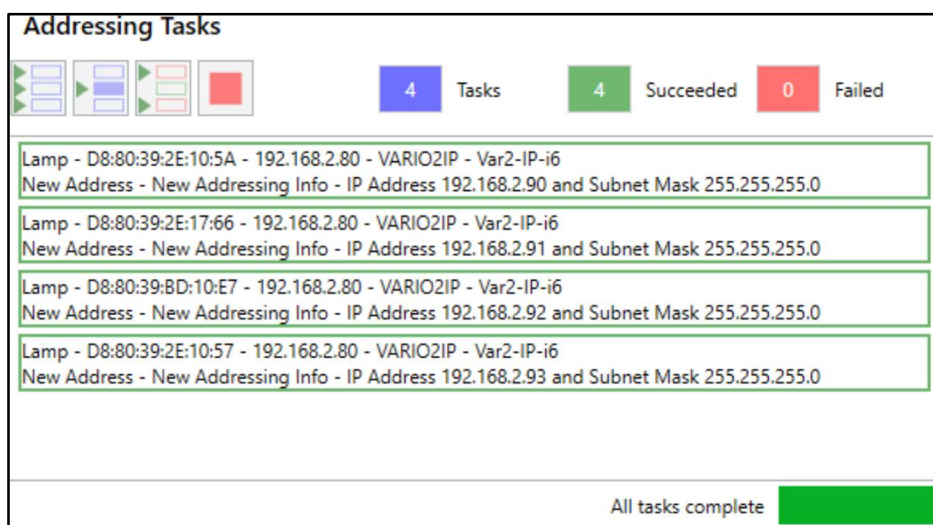
[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックすると、選択した投光器の IP アドレスを変更するためのタスクが作成されます。



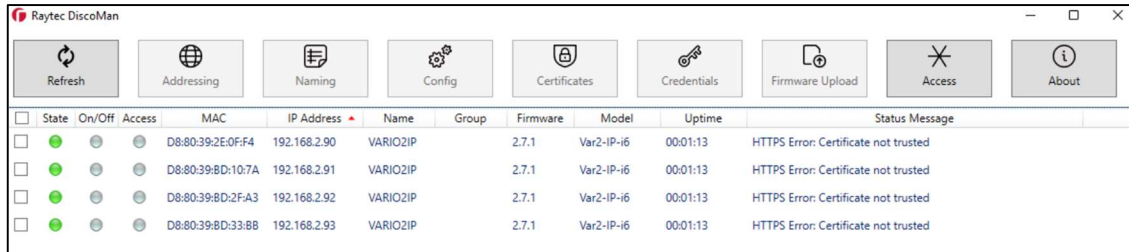
・各タスクと投光器の設定への適用の詳細に関して

[Create Tasks(タスクの作成)]により、タスクが作成されると、実行中を示す青枠が表示されます。緑枠はタスクが正常に完了したことを示し、赤枠はタスクのエラーを表します。タスクリストに表示された設定に問題がなければ、

[Play All Tasks(すべてのタスクを実行する)]をクリックします。



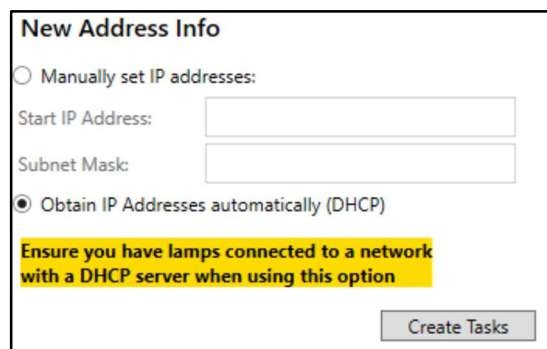
[Addressing(ネットワーク設定)]ウィンドウを閉じ、DiscoMan のメイン画面で [Refresh(更新)]をクリックすると、選択されていた投光器に新しい設定が反映されます。



State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☐	☒	☒	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	☒	☒	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	☒	☒	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	☒	☒	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted

●Obtain IP address automatically(use DHCP)(IP アドレスを自動取得(DHCP を使用))を使用する場合

選択した複数の投光器のネットワーク設定を DHCP サーバーで設定する場合、[Create Tasks(タスクの作成)]のボタンがすぐに有効になります。



New Address Info

☐ Manually set IP addresses:

Start IP Address:

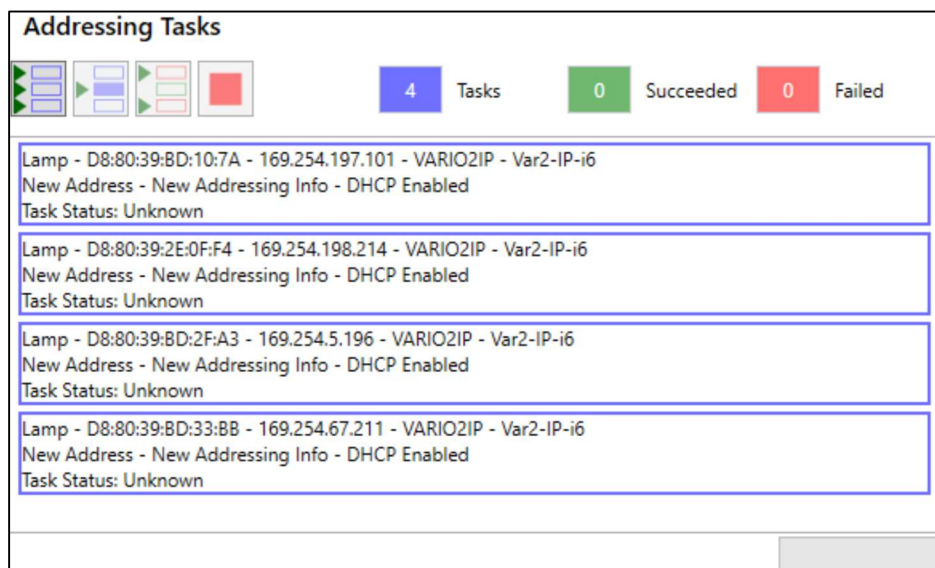
Subnet Mask:

☒ Obtain IP Addresses automatically (DHCP)

Ensure you have lamps connected to a network with a DHCP server when using this option

Create Tasks

[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックすると、選択した投光器の IP アドレスを変更するためのタスクが作成されます。



Addressing Tasks		
4	Tasks	0 Succeeded 0 Failed
Lamp - D8:80:39:BD:10:7A - 169.254.197.101 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	New Address - New Addressing Info - DHCP Enabled	Task Status: Unknown
Lamp - D8:80:39:2E:0F:F4 - 169.254.198.214 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	New Address - New Addressing Info - DHCP Enabled	Task Status: Unknown
Lamp - D8:80:39:BD:2F:A3 - 169.254.5.196 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	New Address - New Addressing Info - DHCP Enabled	Task Status: Unknown
Lamp - D8:80:39:BD:33:8B - 169.254.67.211 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	New Address - New Addressing Info - DHCP Enabled	Task Status: Unknown

DHCP を使用して割り当てられる IP アドレスは自動のため、IP アドレスは[DHCP Enabled]とだけ表示されます。

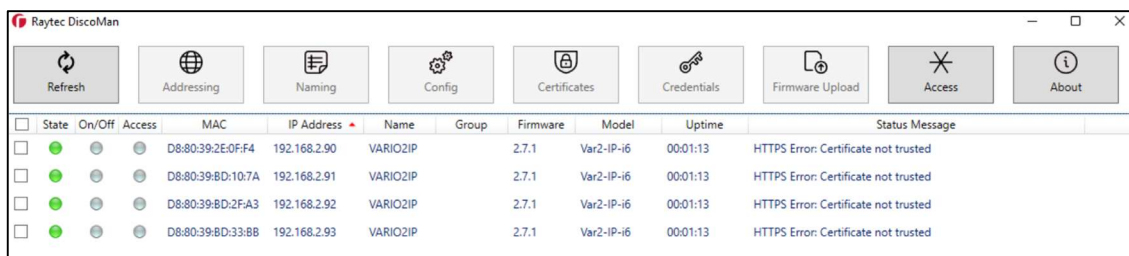
[Play All Tasks(すべてのタスクを実行する)]をクリックすると、選択された投光器に DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。

[Addressing(ネットワーク設定)]ウインドウを閉じ、DiscoMan のメイン画面で[Refresh(更新)]をクリックすると、選択されていた投光器に DHCP サーバーから IP アドレスが自動的に割り当てられているはずです。

※注意：DHCP を使用し IP アドレスを設定する前に、ネットワーク上に DHCP サーバー(DHCP サーバー機能を有する機器)があることを確認してください。
DHCP サーバーがない状態でこのオプションを選択すると、投光器への接続ができなくなる能性があり、その場合は投光器のハードリセットが必要になります。

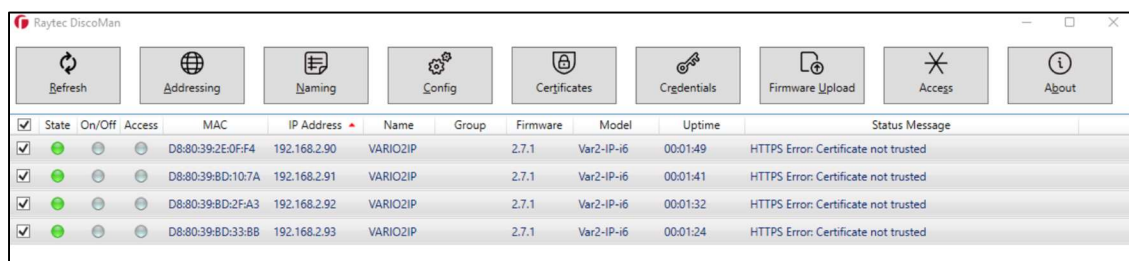
・ Naming(投光器の名称)：複数台の場合

名前を変更したい投光器の[State(状態)]の LED が緑色に表示されていることを確認します。



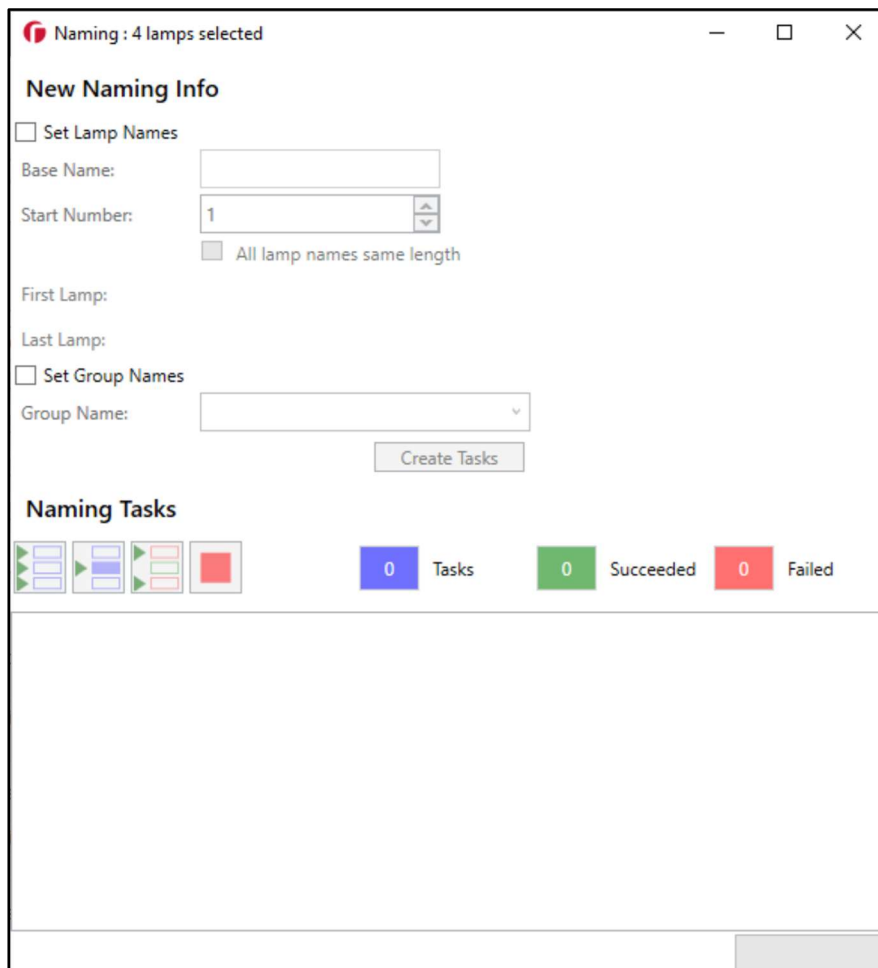
	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☐	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:13	HTTPS Error: Certificate not trusted

次に複数の投光器を選択します。



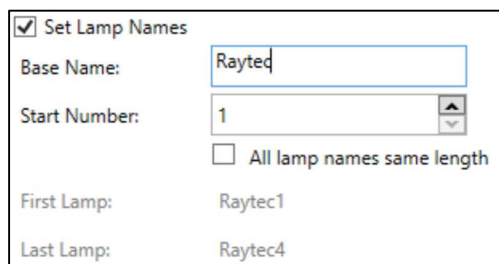
	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☒	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:49	HTTPS Error: Certificate not trusted
☒	●	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:41	HTTPS Error: Certificate not trusted
☒	●	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:32	HTTPS Error: Certificate not trusted
☒	●	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	VARIO2IP		2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:24	HTTPS Error: Certificate not trusted

複数の投光器を選択した状態で[Naming(投光器の名称)]のボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示され、タイトルバーに名前を変更する投光器の数が表示されます。



複数投光器が選択された状態での[Naming(投光器の名称)]では、複数の投光器の名称やグループ名を設定することができます。

投光器の名称を設定したい場合は、[Set Lamp Names(投光器の名称を設定)]にチェックを入れ、[Base Name(ベースとなる名称)]を入力してください。



[Base Name(ベースとなる名称)]を入力すると、[First Lamp(最初のランプ)][Last Lamp(最後のランプ)]の名称がプレビューで自動的に更新されます。

2桁以上の台数の投光器が選択されている場合、[All lamp names same length(全ての投光器の名称の長さを同じにする)]というチェックボックスにチェックを入れると、Raytec07, …,Raytec10 のようにゼロ埋めにて表示されます。

First Lamp:	Raytec7
Last Lamp:	Raytec10

☒ Set Lamp Names	
Base Name:	Raytec
Start Number:	7
	☒ All lamp names same length
First Lamp:	Raytec07
Last Lamp:	Raytec10

投光器のグループ名を変更する場合は、[Set Group Names(グループ名を設定する)]のチェックボックスにチェックを入れてください。

グループ名の設定には2つの選択肢があります。

- ① 新しいグループ名を記入する。
- ② 既存のグループ名を選択する。

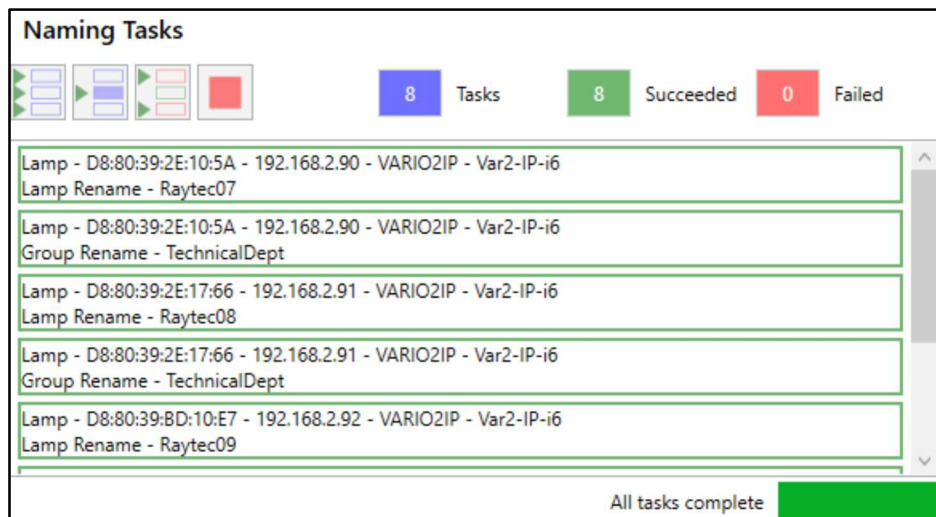
☒ Set Group Names	
Group Name:	TechnicalDept

[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックすると、選択した投光器の名称を設定するためのタスクが作成されます。

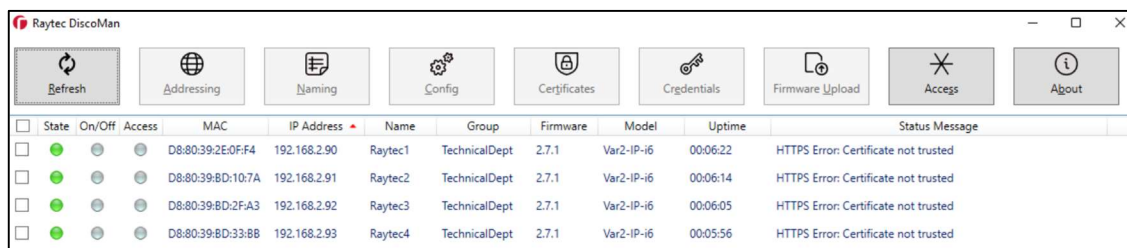
Naming Tasks	
8 Tasks 0 Succeeded 0 Failed	
Lamp - D8:80:39:2E:10:5A - 192.168.2.90 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	
Lamp Rename - Raytec07	
Lamp - D8:80:39:2E:10:5A - 192.168.2.90 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	
Group Rename - TechnicalDept	
Lamp - D8:80:39:2E:17:66 - 192.168.2.91 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	
Lamp Rename - Raytec08	
Lamp - D8:80:39:2E:17:66 - 192.168.2.91 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	
Group Rename - TechnicalDept	
Lamp - D8:80:39:BD:10:E7 - 192.168.2.92 - VARIO2IP - Var2-IP-i6	
Lamp Rename - Raytec09	

Naming Tasks のタスクリストに表示された設定に問題がなければ、

[Play All Tasks(すべてのタスクを実行する)]をクリックします。



[Naming(投光器の名称)]ウインドウを閉じ、DiscoMan のメイン画面で[Refresh(更新)]をクリックすると、選択されていた投光器に新しい名称の設定が反映されます。



※注意：DiscoMan メイン画面の[State(状態)]の LED が灰色のときに投光器を選択した場合、複数の投光器の設定を変更しようと試みても投光器のタスクはエラーになります。この場合、ネットワーク上で他の Raytec ソフトウェアが動作していないことを確認し、[Replay Failed Tasks(エラーのタスクを再実行)]をクリックします。

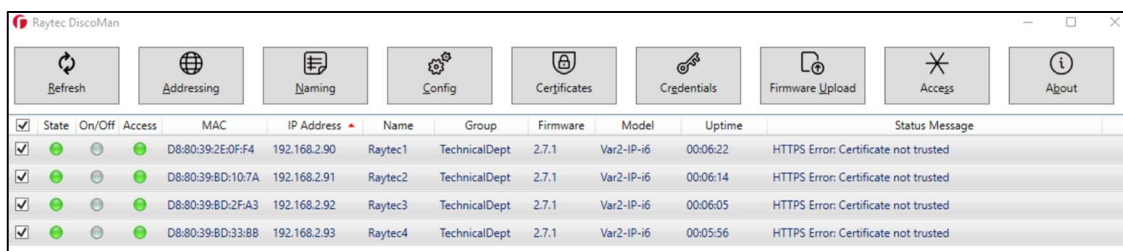


・ Certificates (証明書)：複数台数の場合

以下のファームウェアバージョンでは、HTTPS 証明書を投光器にアップロードして、HTTPS による、より安全なネットワーク通信を有効にすることができます。

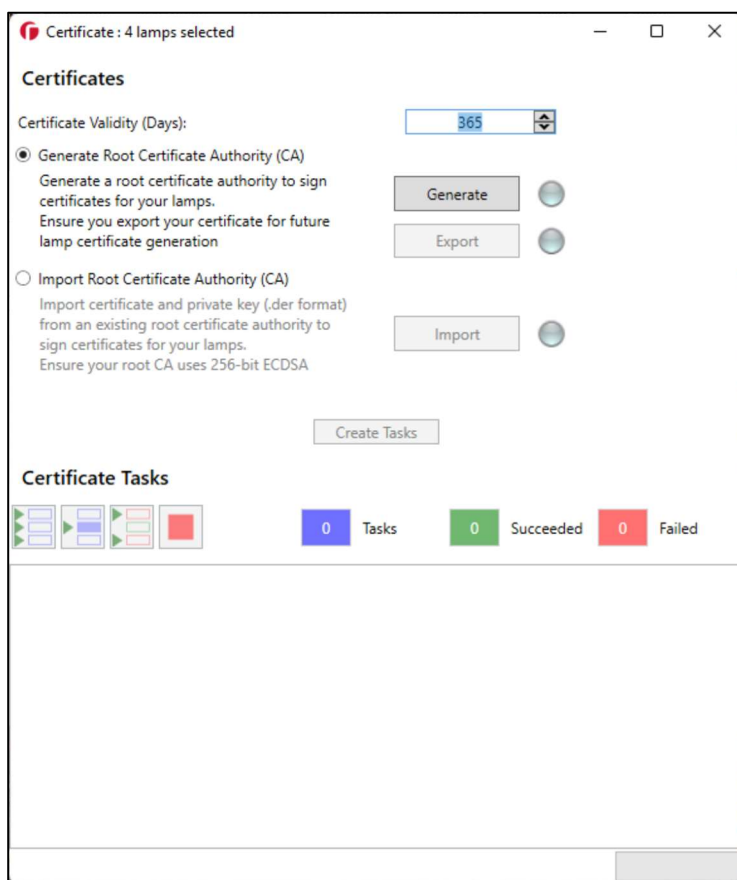
Lamp	Firmware
Vario2 IPPoE	v2.7.1
Vario2 Hybrid IPPoE	v3.6.9
Vario2 16 IPPoE	v6.2.0
Vario2 Hybrid 16 IPPoE	v7.2.0

次に複数の投光器を選択します。



State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
✓	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	Raytec1	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:06:22	HTTPS Error: Certificate not trusted
✓	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	Raytec2	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:06:14	HTTPS Error: Certificate not trusted
✓	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	Raytec3	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:06:05	HTTPS Error: Certificate not trusted
✓	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	Raytec4	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:05:56	HTTPS Error: Certificate not trusted

[Certificates (証明書)]をクリックすると、指定された投光器のウィンドウがポップアップし、タイトルバーに選択されている投光器の数が表示されます。



Certificate : 4 lamps selected

Certificates

Certificate Validity (Days):

☒ **Generate Root Certificate Authority (CA)**
 Generate a root certificate authority to sign certificates for your lamps.
 Ensure you export your certificate for future lamp certificate generation

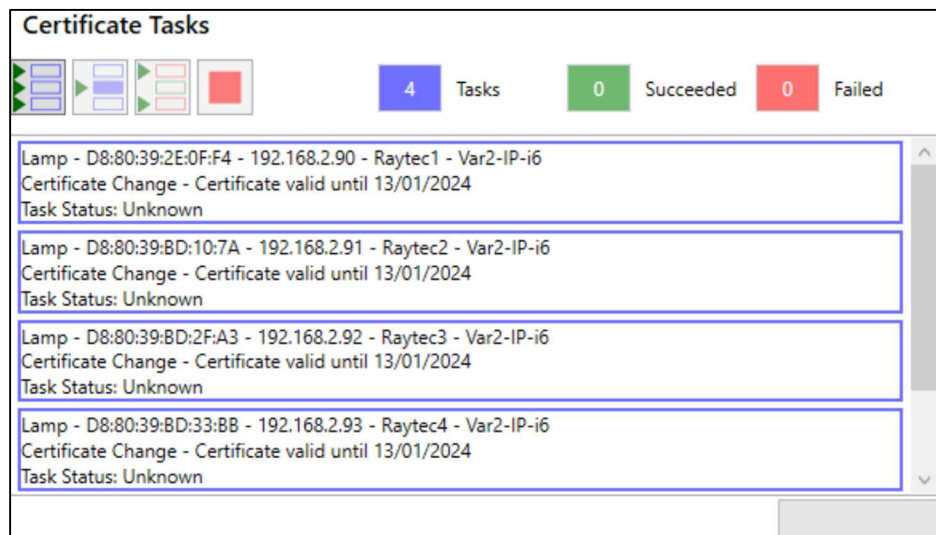
☐ **Import Root Certificate Authority (CA)**
 Import certificate and private key (.der format) from an existing root certificate authority to sign certificates for your lamps.
 Ensure your root CA uses 256-bit ECDSA

Certificate Tasks

0 Tasks 0 Succeeded 0 Failed

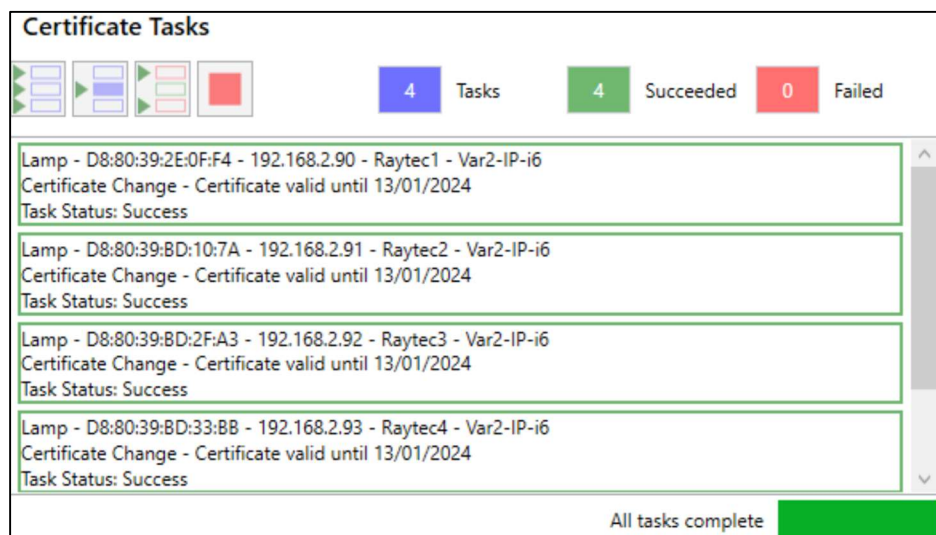
[Certificates (証明書)]は、複数台数の場合も、投光器 1 台のみの設定と同様に行います。

新しい CA を生成するか、既存の CA をインポートし（これらの違いの詳細については”Certificates(証明書)：投光器 1 台のみの場合”を参照）、[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックします。

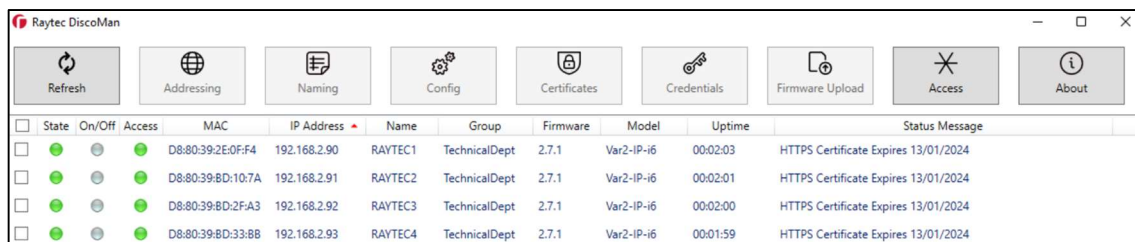


タスクには、使用した証明書の有効期限が表示されます。

[Play All Tasks(すべてのタスクを実行)]  をクリックし全てのタスクを完了させます。



「Refresh」をクリックすると、更新した投光器の Status Message に証明書の有効期限が表示されます。証明書のアップロード後、タスクは再起動を実行します。



	State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
☐	●	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	RAYTEC1	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:02:03	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	RAYTEC2	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:02:01	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	RAYTEC3	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:02:00	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024
☐	●	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	RAYTEC4	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:01:59	HTTPS Certificate Expires 13/01/2024

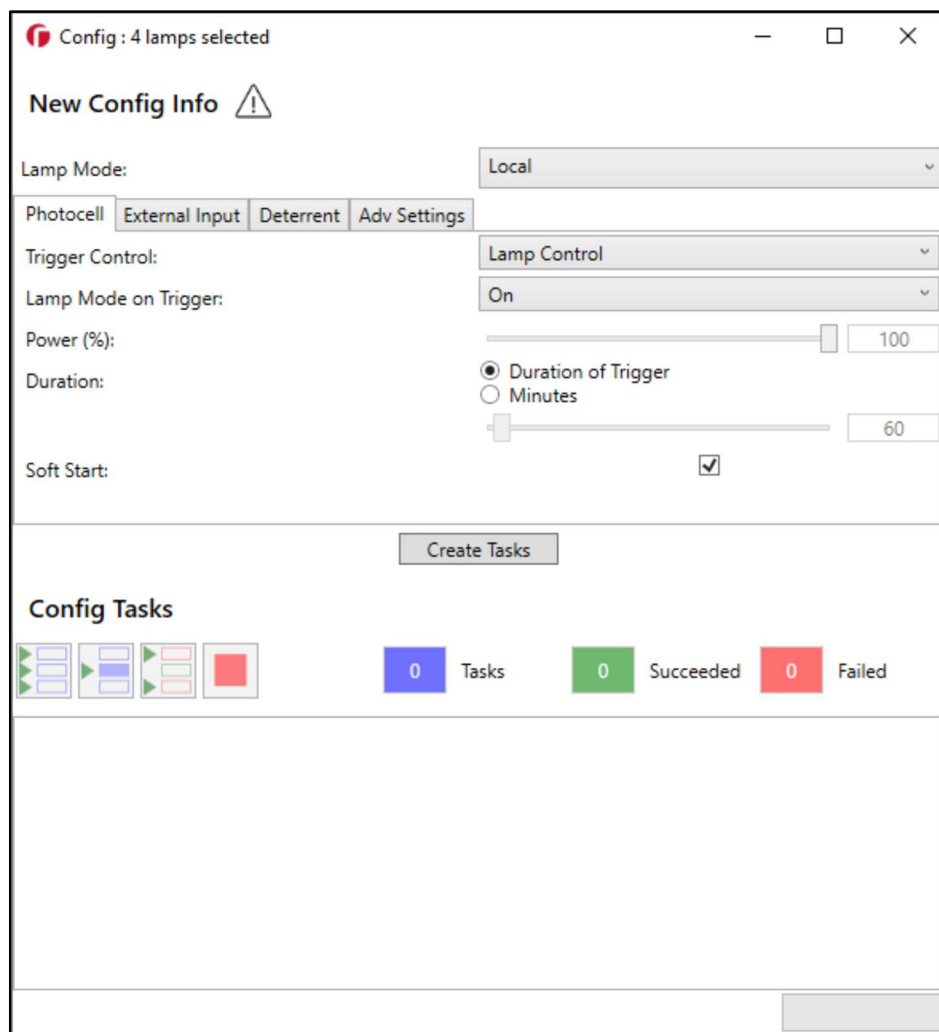
※Status Message(状態メッセージ)欄に”HTTPS Error : Certificate not trusted ”と表示されている場合は、使用するルート CA が PC から信頼されていることを確認する必要があります。この方法の詳細については、当社の”HTTPS セットアップガイド”を参照してください。

“Raytec HTTPS セットアップガイド”の URL に関しては本書の P.23 に記載されております。

・ Config(設定)：複数台数の場合

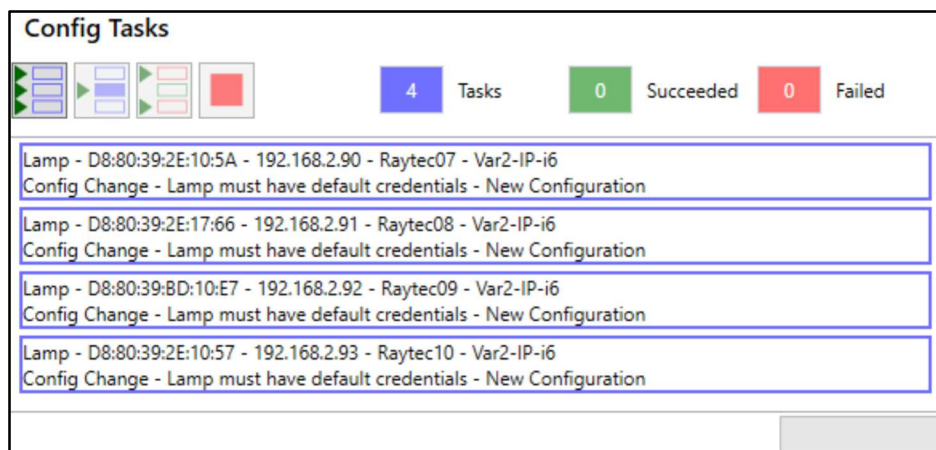
DiscoMan のリストから対象の投光器を複数台選択します。

[Config(設定)]をクリックすると、指定された投光器のウインドウがポップアップし、タイトルバーに選択されている投光器の数が表示されます。



複数台の投光器をする設定場合も、“Config(設定)：投光器 1 台のみの場合”の設定画面と同様になります。

それぞれの投光器の機能に合わせて設定を変更し、[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックします。



[Config Tasks(設定のタスク)]のタスクリストに表示されているタスクには設定の詳細は記載されず[New Configuration]と記載されます。

[Config (設定)]で作成したタスクを選択し、[Play Selected Task(選択したタスクを実行)]

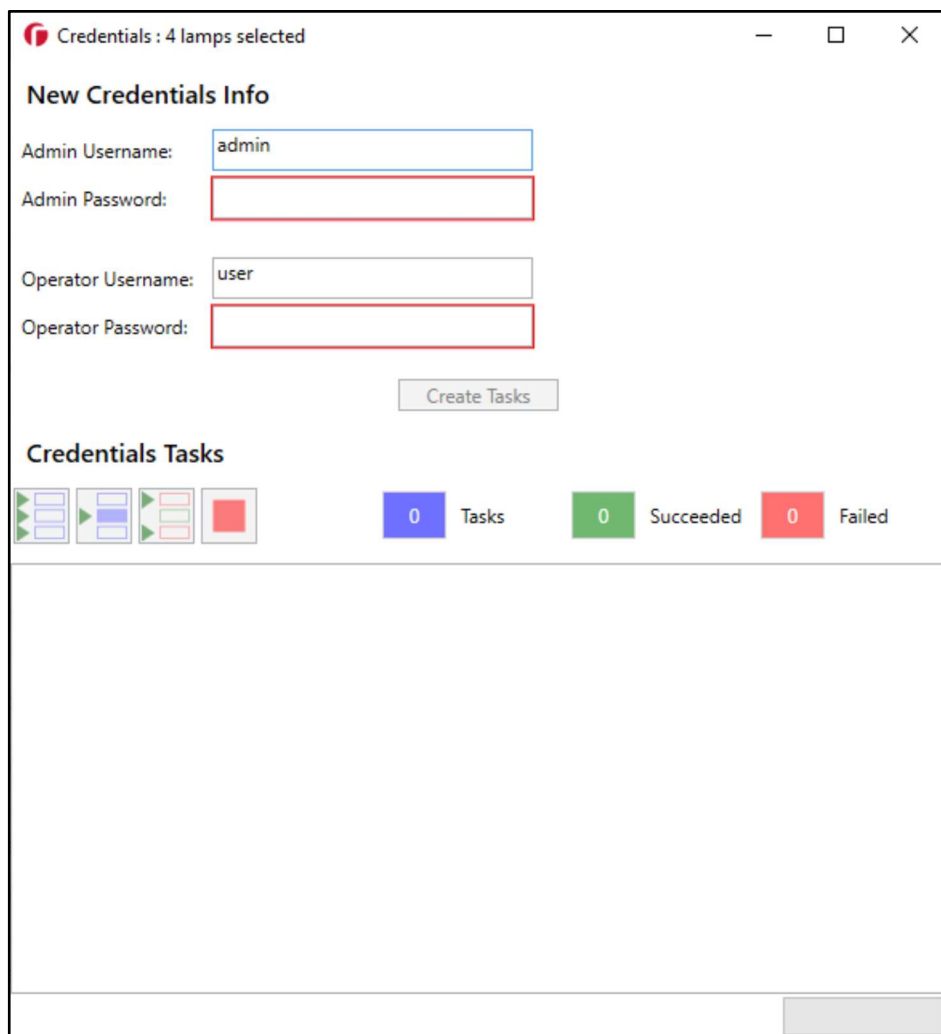
 をクリックすると、ユーザーは更新された投光器が正しく動作するかをテストすることができます。その後、[Play All Tasks(すべてのタスクを実行)]  をクリックして残りの全てのタスクを完了させることができます。

※注意： Hybrid モデルと Hybrid モデル以外の投光器を同時に設定することはできません。
設定を行おうとするとエラーが表示されます。

・ Credentials(認証)：複数台数の場合

DiscoMan のリストから対象の投光器を複数台選択します。

[Credentials(認証)]をクリックすると、指定された投光器の[Credentials(認証)]ウインドウがポップアップし、タイトルバーに選択されている投光器の数が表示されます。



新しい[Credentials(認証)]では 1 台のみの設定時と同じく、パスワードを出荷時の [password]から変更する必要があります。

投光器に設定したいアカウント情報を入力し、「タスクの作成」をクリックします。

Credentials Tasks					
				4 Tasks	0 Succeeded 0 Failed
Lamp - D8:80:39:2E:10:5A - 192.168.2.90 - Raytec07 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:2E:17:66 - 192.168.2.91 - Raytec08 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:BD:10:E7 - 192.168.2.92 - Raytec09 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:2E:10:57 - 192.168.2.93 - Raytec10 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					

[Credentials Tasks(認証のタスク)]のタスクリストに表示されているタスクには設定の詳細は記載されず[New Configuration]と記載されます。

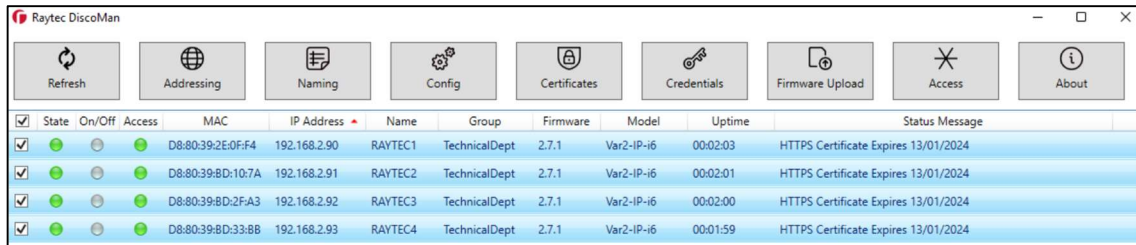
[Play All Tasks(すべてのタスクを実行)]  をクリックするとタスクが実行されます。

Credentials Tasks					
				4 Tasks	4 Succeeded 0 Failed
Lamp - D8:80:39:2E:10:5A - 192.168.2.90 - Raytec07 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:2E:17:66 - 192.168.2.91 - Raytec08 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:BD:10:E7 - 192.168.2.92 - Raytec09 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
Lamp - D8:80:39:2E:10:57 - 192.168.2.93 - Raytec10 - Var2-IP-i6 Credentials Change - New Credentials					
					All tasks complete 

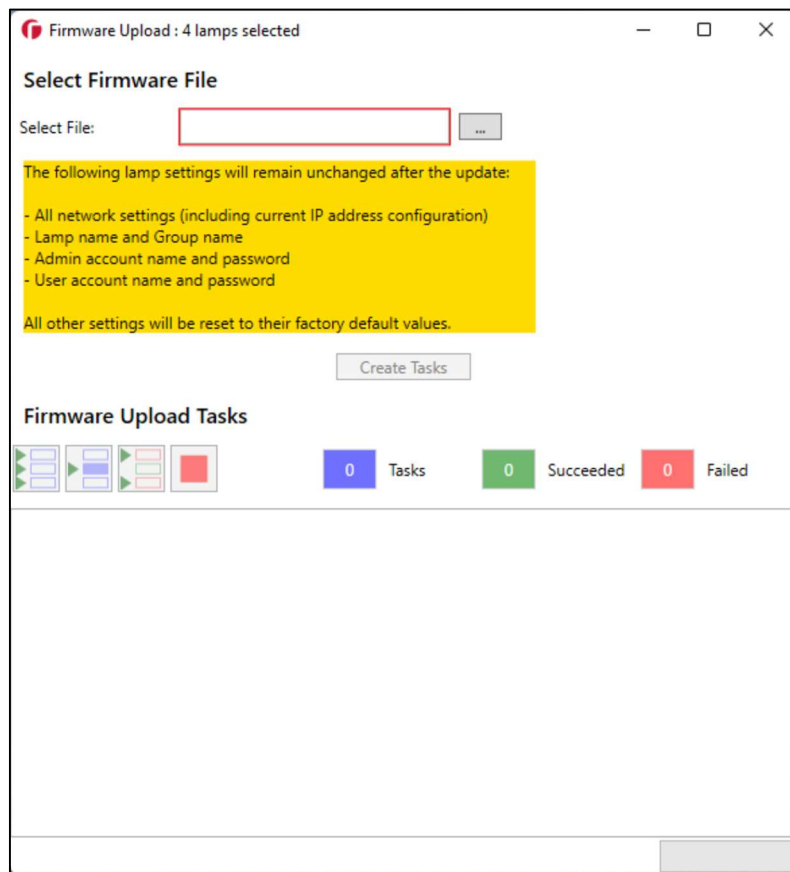
※注意：一度投光器の[Credentials(認証)]を変更すると、DiscoMan からランプの設定を変更することはできません。

投光器の[Config(設定)]をデフォルトから変更したい場合は、[Credentials(認証)]を変更する前に必ず[Credentials(認証)]を変更する前に、[Config(設定)]ウィンドウを立ち上げてください。

- ・ Firmware Upload (ファームウェア更新)：複数台数の場合
リストから対象の投光器を複数台選択します。



[Firmware Upload (ファームウェア更新)]をクリックすると、指定された投光器の [Firmware Upload (ファームウェア更新)] ウィンドウがポップアップし、タイトルバーに選択されている投光器の数が表示されます。



複数台の投光器を設定する場合も、“Firmware Upload (ファームウェア更新)：投光器 1 台のみの場合”の設定画面と同様になります。

それぞれの投光器の機能に合わせて設定を変更し、[Create Tasks(タスクの作成)]をクリックします。

Firmware Upload Tasks		
		
4	Tasks	0 Succeeded 0 Failed
Lamp - D8:80:39:2E:0F:F4 - 192.168.2.90 - RAYTEC1 - Var2-IP-i6 Firmware Upload - D:\Raytec Firmware\Var2_IPPoE_v2_7_1.hex Task Status: Unknown		
Lamp - D8:80:39:BD:10:7A - 192.168.2.91 - RAYTEC2 - Var2-IP-i6 Firmware Upload - D:\Raytec Firmware\Var2_IPPoE_v2_7_1.hex Task Status: Unknown		
Lamp - D8:80:39:BD:2F:A3 - 192.168.2.92 - RAYTEC3 - Var2-IP-i6 Firmware Upload - D:\Raytec Firmware\Var2_IPPoE_v2_7_1.hex Task Status: Unknown		
Lamp - D8:80:39:BD:33:8B - 192.168.2.93 - RAYTEC4 - Var2-IP-i6 Firmware Upload - D:\Raytec Firmware\Var2_IPPoE_v2_7_1.hex Task Status: Unknown		

※注意：

Hybrid モデル以外と Hybrid モデルを同時に選択している場合、これらのファームウェアを同時に更新することはできません。

これらの投光器はモデルが異なるため、ファームウェアのファイルも異なります。

[Play All Tasks(すべてのタスクを実行)]をクリックすると、各投光器のファームウェアの更新が順次実行されます。すべてのタスクが成功した後、ページを閉じて、Status Message で各ファームウェアの進捗状況を確認することができます。

Raytec DiscoMan										
										
Refresh	Addressing	Naming	Config	Certificates	Credentials	Firmware Upload	Access	About		
State	On/Off	Access	MAC	IP Address	Name	Group	Firmware	Model	Uptime	Status Message
✓	●	●	D8:80:39:2E:0F:F4	192.168.2.90	RAYTEC1	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:27:25	Firmware updating (7 seconds)
✓	●	●	D8:80:39:BD:10:7A	192.168.2.91	RAYTEC2	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:27:20	Firmware updating (23 seconds)
✓	●	●	D8:80:39:BD:2F:A3	192.168.2.92	RAYTEC3	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:27:21	Firmware updating (40 seconds)
✓	●	●	D8:80:39:BD:33:8B	192.168.2.93	RAYTEC4	TechnicalDept	2.7.1	Var2-IP-i6	00:27:17	Firmware updating (56 seconds)

※注意：

最後のファームウェアの更新が完了するまで、アクションバーの”About”以外のアクションは無効のままです。

Refresh(更新)をクリックすると、新しいファームウェアバージョンが Firmware 列に表示されます。この操作中に再起動が行われ、Uptime にも反映されます。

■トラブルシューティング

Vario 2 IP PoE の接続や設定で問題が発生した場合、本セクションのトラブルシューティングのヒントを参照してください。それでも上手くいかない場合、当社のサポートまでお問合せください。

●Vario 2 IP PoE が表示されない

- ・ DiscoMan を使用しているコンピューターを再起動する。
- ・ DiscoMan を使用しているデバイスのネットワーク接続が、同じネットワークであることを確認する。
- ・ 通信を遮断するファイアウォールがないことを確認する。
- ・ 別のコンピューター上で DiscoMan が動作するかを確認する。

●タスクがエラーになってしまう

タスクが失敗する理由は、実行中のタスクによって異なります：

- ・ 投光器の名称/グループ名 を変更しようとしている投光器の[State(状態)]の LED が緑色になっていることを確認してください。[Naming(投光器の名称)]のタスクには、DiscoMan が投光器に TCP 接続している必要があります。このステータスが灰色の場合、他の Raytec ソフトウェアを終了し、DiscoMan を再起動してください。

- ・ [Credentials(認証)]をデフォルトから変更すると、それ以降[Config(設定)]のタスクが実行できなくなります。[Credentials(認証)]を変更する前に、必ず[Config(設定)]を更新してください。

[Credentials(認証)]を変更後に、再度[Config(設定)]を変更したい場合は、一度本体のハードリセットを行う必要があります。

※ハードリセットの方法は、Vario 2 IP PoE シリーズ取扱説明書の P.16 6-2 強制リセットボタンの項目を参照してください。

●一度にすべてのランプを設定できない

- ・ 選択している投光器が、すべて Hybrid モデルもしくは、すべて Hybrid モデル以外であることを確認してください。Hybrid モデルは、Photocell(照度センサ)と External Input(外部入力)に Light Type(投光タイプ) (IR または WL か) を選択する必要があります。そのため、異なるモデルの投光器を同時に設定はできません。